

島文連

第28号

山口県高等学校文化連盟

山口県高文連30周年を記念してシンボルマークを制定しました



原 作 者 山口県立徳山高等学校 2年 住田 育美 (すみだ いくみ) ※平成28年度

色 番 号 緑「PANTONE P 142-8 C」 オレンジ「CF 10144*」

内 容 このマークは、緑色の部分が山口 (YAMAGUCHI) の「Y」、オレンジ色の部分はローマ字の「i」、つまり「私」を表しています。そして、Yとiを組み合わせて文化の「文」になっています。それによって、「山口で私が文化を盛り上げる」ということを示します。他の人に頼るのではなく、まず自分が山口県の文化活動を盛り上げていけるように主体的・積極的に活動するという意味を含めました。そのような思いを持つ人が集まると、より良いものをつくっていけると思います。また、このマークは同時に高校生の躍動感のある姿も表しています。手の部分からはしなやかさや柔軟性、足の部分からは力強さを感じられるようにしました。このように、1つのマークに複数の意味がありますが、それには1つのものに色々な意味があるように、様々な個性を持った高校生が集まって、一人一人の個性を発揮しつつ力を合わせて、演奏であったり作品であったり、1つの大きな「形」を作り上げていければ、という思いを含めました。色についてですが、オレンジは萩の夏みかんや周防大島のみかんといった特産品や山口県特有のオレンジのガードレールなど、山口を連想させることができることができるように用いました。緑は山口の豊かな自然を表しています。それに加えて、高校生の姿という視点から見て、オレンジは情熱、緑は爽やかさをイメージし、高校生ならではの若々しさを表現しました。

審査概要 応募総数 13校263点

審査結果 最優秀賞 山口県立徳山高等学校 2年 住田 育美

優秀賞 山口県立防府商業高等学校 3年 藤山 静香

山口県立徳山高等学校 1年 梶原 みうな

審査員 吉本 晃 (山口県高等学校文化連盟 会長)

福田 隆真 (国立大学法人 山口大学 理事・副学長)

斎藤 郁夫 (山口県立美術館 副館長)

濱崎 洋 (山口県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部 理事長)

中村 三雄 (山口市立大殿中学校 教諭)

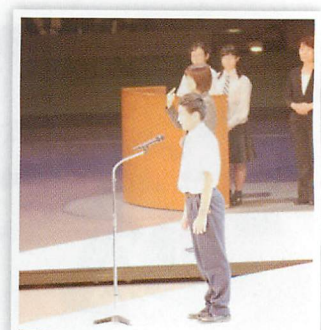
山口県高等学校文化連盟には16の専門部会があります

演劇／器楽・管弦楽／合唱／吹奏楽／マーチング・バトントワリング／日本音楽／吟詠剣詩舞／
美術・工芸／書道／写真／囲碁／将棋／放送／文芸／自然科学／小倉百人一首かるた

平成28年度第38回山口県高等学校総合文化祭開会式は、山口市民会館を会場に行われました。各部門の大会は、5月の小倉百人一首かるたと将棋を皮切りに、県内各地で行われました。



平成28年7月30日～8月3日、広島県にて第40回全国高等学校総合文化祭が行われました。
山口県からは、県総文で選ばれた代表が、出場しました。



高文連

第 28 号

も く じ

ごあいさつ	1
第38回山口県高等学校総合文化祭総合開会式（音楽4部門発表会）の報告	2
各部門の報告	
演劇部門	7
合唱部門	9
吹奏楽部門	11
器楽・管弦楽部門	13
日本音楽部門	14
マーチングバンド・バトントワリング部門	16
美術・工芸部門	17
書道部門	20
写真部門	22
放送部門	24
囲碁部門	26
将棋部門	28
小倉百人一首かるた部門	30
文芸部門	32
自然科学部門	35
全国高等学校総合文化祭に参加して	37
自主事業・補助事業の報告	38

参考資料

平成28年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告	45
平成28年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書	47
平成29年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画	48
平成29年度 山口県高等学校文化連盟 会計予算書・調整基金会計予算書	49
山口県高等学校文化連盟規約	50
山口県高等学校文化連盟諸規程	54
山口県高等学校文化連盟表彰規程	55
山口県高等学校文化連盟旅費支給基準	57
平成28・29年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧	58
全国高文連の歌	60



ごあいさつ

山口県高等学校文化連盟

会長 吉本 晃

皆様の御協力のもと、ここに平成28年度の山口県高文連の歩みを記した集録ができあがりましたことに感謝申し上げます。本連盟は昭和62年6月に発足し、平成29年で30年目の節目となり、県内外のさまざまな文化・芸術活動への参加の拠点として、高校生の創造力の育成と豊かな心の醸成を支援し続けています。今後も、本連盟は各学校の文化部活動をつなぐ役割を果たしながら、高校生のさまざまな文化芸術活動を支援してまいります。

さて、本年度の第38回山口県高等学校総合文化祭は、「たたけ 創造の扉を ひらけ 新しい文化の道へ」をテーマに開催されました。みずみずしい感性でそれぞれの文化の魅力を受けとめ、自分らしい表現を追求していく中で、『創造の扉』を叩き、『新しい文化の道』を切り開いていく高校生たちからは、無限の可能性を感じさせられました。6月16日には、総合開会式が山口市において盛大に開催されました。当日は、近隣の高校生が多く会場を埋め、力強く情熱にあふれる高校生の合同演奏を楽しみました。代表生徒の堂々たるあいさつ、慶祝演奏、慶祝展示は、まさに新しい文化の道を感じさせる、見応え、聞き応えのあるすばらしいものでした。

各専門部の大会は、5月の将棋部門、百人一首かるた部門をスタートとし、11月の美術・工芸部門、写真部門の大会まで、7か月にわたって県内各地で開催されました。文化部は他校の生徒と一緒に活動する機会が少ないのが実情で、部門別の総合文化祭は生徒同士の貴重な交流の場となっています。また、各分野の専門家が講師や審査員として招聘され、直接指導に当たってくださるので、文化・芸術の深みに触れることができます。各大会を運営されました主管校や顧問の先生方にこの場を借りてお礼申し上げますとともに、今後も一層充実した大会にさせていただきますよう、お願い申し上げます。

7月末からは第40回全国高等学校総合文化祭（ひろしま総文）が開催され、本県からは14部門、24校、157名が参加しました。写真部門で、新南陽高校3年の原村さんが最優秀賞・文化庁長官賞を受賞したり、囲碁部門では、防府高校の西村くんが3位入賞と昨年度に引き続き健闘してくれたり、嬉しい結果を残してくれました。他の部門の生徒たちも、全国大会という大きな舞台を経験し、他県の生徒たちとの交流も深めて、成長してくれたものと思っています。持ち帰った全国の風を日々の活動に活かし、次年度の宮城大会ではさらにより成果が発揮できるよう頑張ってほしいと思います。

そのほか、本連盟では高校生が優れた文化や芸術に直接ふれあって感性を高めることを目的に、自主文化事業や補助事業を企画し、希望の学校で開催しています。一昨年から新たにプロとして活躍する本県出身のジャズバンドを補助事業に加え好評を博しています。今後も、高校生の希望を取り入れながら、より多くの学校に参加していただける文化・芸術活動を積極的に企画していきたいと考えています。

終わりに、本連盟の活動に御支援、御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝し、厚くお礼申し上げまして、発刊の御挨拶といたします。

第38回 山口県高等学校総合文化祭

総合開会式（音楽4部門発表会）の報告

主管校 西 村 正 浩
(山口中央高等学校教諭)

総合開会式(音楽4部門発表会)の記録

平成28年6月16日(木)～18(土)、山口市民会館を会場に「たたけ 創造の扉を ひらけ 新しい文化の道へ」のテーマの下、山口県・山口県教育委員会・山口県高等学校文化連盟主催、山口市・山口市教育委員会共催、山口県中学校文化連盟後援で、総合開会式は山口県立山口中央高等学校を主管校として、また音楽4部門発表会は防府商工高校藤本博途先生を主幹とした山防地区関係高等学校の協力により第38回山口県高等学校総合文化祭総合開会式並びに音楽4部門発表会を開催した。予定したプログラムを滞りなく無事実施することができ、出演者や観覧者等、3日間でのべ約3,500人の参加を得て、盛会裏に終えた。

式典は、松本未来(山口中央高校)の開会宣言と山口市内高等学校吹奏楽団によるファンファーレで開幕した。まず、写真スライドとアナウンスにより、山口県高等学校文化連盟の演劇や器楽・管弦楽等、16部門からなる専門部の紹介と自主事業等、山口県高文連の活動紹介を行った。次いで、主催者を代表して、山口県高等学校文化連盟会長及び山口県教育委員会教育長が挨拶を行い、最後に山口中央高校を代表して藤井結樹乃が挨拶した。その後、渡辺純忠山口市長から歓迎の言葉をいただき、来賓を紹介した。最後に功績賞、優秀芸術文化賞、テーマ最優秀賞の表彰を行なった。(表彰の詳細は後述)

慶祝演奏は、日本音楽、マーチングバンド、吹奏楽、合唱、器楽・管弦楽の演奏を行った。日本音楽は、野田学園高校箏曲部生徒10名が「石笛」を優美に演奏し、マーチングバンドでは、山口県鴻城高校マーチングバンド部が、部員25名の躍動感溢れる演奏演技により「サンチェスの子供たち」を披露した。次いで、山口市内の4校の高校の吹奏楽部員65名で構成する山口市内高等学校吹奏楽団が、「スピリティッド・アウェイ」を壮大に演奏した。最後に、近年最大となる総勢214名の野田学園高校等県内高校10校からなる山口県高等学校合唱団と96名の山口中央高校等県内高校5校からなる山口県高等学校管弦楽団による合奏が行われ、「カンタータ《土の歌》

より大地讃頌」「交響詩『フィンランディア』」を演奏し、会場を圧倒する迫力であった。閉幕に当たり、ステージと客席全員で「翼をください」を合唱し、総合開会式を終了した。

慶祝展示は、山口市民会館展示ホールで行い、美術・工芸11点、書道10点、写真16点の県内の優秀作品や山防地域の高校生の作品を展示した。また、演劇、囲碁等、8部門の専門部の大会風景等の活動写真パネルも展示し、文芸部門からは優れた文芸誌が出品された。展示は、音楽4部門発表会開催日2日間も引き続き行った。山口中央高校全生徒、西京高校及び野田学園高校の1学年の生徒全員が観覧した。

音楽4部門合同発表会では、2日間にわたって、県内高校58校64団体、出演者総数2,162名が出演し、演奏、演技した。最少5名の団体から最大131名の団体まで、幅広い構成の中、どの団体も日頃の練習の成果を発揮し、それぞれの特色やよさを生かした演奏を披露していた。出演団体の内訳は、次のとおりであった。

演奏形態	第1日 17日(金)		第2日 18日(土)		合 計	
	出演 団体数	出演者 数	出演 団体数	出演者 数	出演 団体数	出演者 数
管弦楽	1	47	2	112	3	159
弦楽合奏	1	25			1	25
マンドリン			1	15	1	15
管弦楽・合唱	1	131			1	131
合唱	2	73	4	115	6	190
吹奏楽	29	932	21	668	50	1,600
マーチングバンド			1	25	1	25
バントワリング			1	17	1	17
合計	34	1,210	30	952	64	2,162

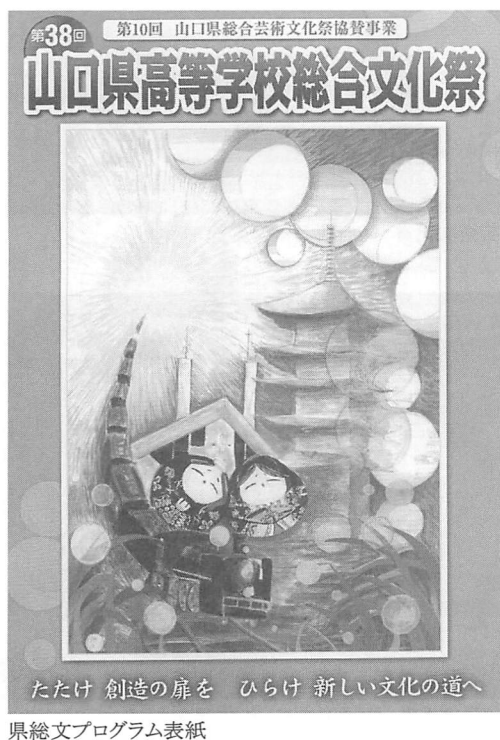
両日も、最後に、ステージと客席全員で「翼をください」を合唱して終えた。

大会式を発表会第1日の17日の最後に実施し、合唱専門部門会長である萩高校 西村佳子校長が挨拶を行った。

最後に担当者としての所感を述べ、報告とさせていただきます。

- ・高文連各専門部理事長や山防地区の先生方、そして主管校である本校教職員の協力を得て、総合開会式が円滑に進行することができた。それぞれの発表もすばらしく、また舞台の転換も迅速に行うことができ、総合文化祭のオープニングセレモニーとして立派な素晴らしい大会とすることができた。
- ・高文連紹介はスライドショーにより分かりやすく行うことができた。また、観客生徒の鑑賞マナーもすばらしく、高校生の一生懸命さが伝わるあいさつ、演奏・演技で盛り上がった。また、今回は会場ロビーではなく、市民館展示ホールという独立した会場で慶祝展示を行い、充実した展示となった。
- ・音楽4部門発表会においては防府商工高校の藤本博途先生を中心として、山防地区の先生方、および関係生徒の協力により円滑な大会運営ができたこと、また、これにより総合開会式主管校の負担を軽減した運営ができたことに感謝いたします。

■総合開会式 6月16日



◎式典

◇開会宣言 松本 未来(山口中央高等学校)

◇ファンファーレ

曲 目 『ファンファーレ』

【演奏】 山口市内高等学校吹奏楽団

(山口 西京 山口農業 中村女子 各高等学校)

〈指揮〉 丸山 航 (西京高等学校)

◇山口県高等学校文化連盟の紹介

○専門部紹介

演劇 合唱 吹奏楽 器楽・管弦楽 日本音楽
吟詠剣詩舞 マーチングバンド・バントワリング
美術・工芸 書道 写真 放送 囲碁 将棋
小倉百人一首かるた 文芸 自然科学
(以上16部門)

○自主事業等の紹介

巡回演劇教室3公演
巡回音楽教室2公演
青少年劇場小公演2公演
補助事業4公演

◇主催者挨拶

山口県高等学校文化連盟会長	吉本 晃
山口県教育委員会教育長	浅原 司
山口中央高等学校生徒代表	藤井結樹乃

◇歓迎の言葉 山口市長 渡辺 純忠

◇来賓紹介

◇表 彰

○功績賞 野田学園高等学校 教諭 田中 睦
○優秀芸術文化賞
防府高等学校 3年 西村僚太郎(囲碁)
防府西高等学校吹奏楽部サクソフォン八重奏
○テーマ最優秀賞
山口中央高等学校 3年 矢吹 毬衣
『たたけ 創造の扉を ひらけ 新しい文化の道へ』

【進行】 山口高校・山口中央高校 放送部

【ポスター、プログラム原画制作者】

山口中央高等学校 2年 中山瑠璃子



開会宣言 山口中央高 松本未来



功績賞 野田学園高 田中睦 教諭



ファンファーレ



優秀芸術文化賞 防府高 西村僚太郎



会長挨拶



優秀芸術文化賞 防府西高吹奏楽部



生徒代表挨拶 山口中央高 藤井結樹乃



テーマ最優秀賞 山口中央高 矢吹毬衣

◎慶祝演奏

◇日本音楽

曲 目 『石笥』

【演奏】 野田学園高等学校箏曲部



慶祝演奏 日本音楽

◇マーチングバンド

曲 目 『サンチェスの子供たち』

【演奏】 山口県鴻城高等学校

〈指揮〉 内田 良一 (山口県鴻城高等学校)



慶祝演奏 マーチングバンド

◇吹奏楽

曲 目 『スピリテッド・アウェイ』

【演奏】 山口市内高等学校吹奏楽団

(山口 西京 山口農業 中村女子 各高等学校)

〈指揮〉 岸 美砂子 (中村女子高等学校)



慶祝演奏 吹奏楽

◇器楽・管弦楽 合唱

曲 目 『カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」』

『交響詩《フィンランディア》』

『翼をください』

【演奏】 山口県高等学校管弦楽団・合唱団

〔山口県高等学校管弦楽団〕

(柳井 山口 山口中央 防府 下関南 各高等学校)

〔山口県高等学校合唱団〕

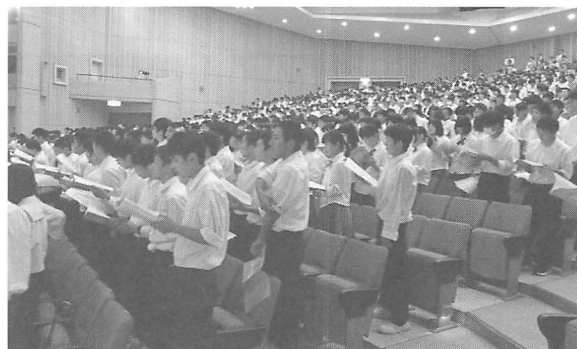
(岩国 防府 山口 山口中央 宇部中央 萩 野田学園

慶進 中村女子 萩光塩学院 各高等学校)

〈指揮〉 西村 正浩 (山口中央高等学校)



慶祝演奏 合同合唱・合同管弦楽



慶祝演奏 全員合唱『翼をください』

◎慶祝展示

【作品展示】

◇美術・工芸

山口 西京 山口中央 防府 防府西 各高等学校

◇書道

山口 中村女子 各高等学校

◇写真

山口 新南陽 各高等学校

【大会風景・文芸誌展示】

◇文芸

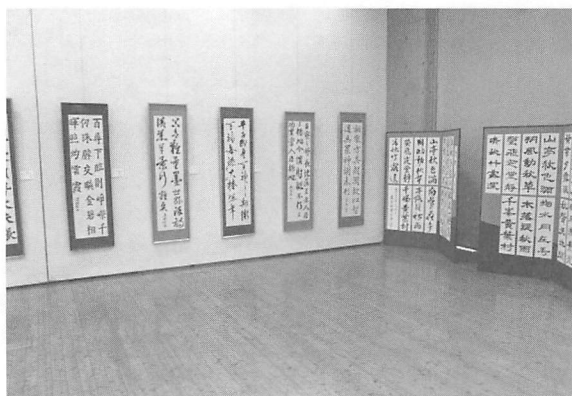
【大会風景】

◇演劇 囲碁 将棋 放送 自然科学

小倉百人一首かるた 日本音楽



慶祝展示 美術・工芸作品



慶祝展示 書道作品



慶祝展示 書道作品



慶祝展示 大会風景

■音楽4部門発表会 6月17日、18日

◇〔器楽・管弦楽〕〔合唱〕〔吹奏楽〕

〔マーチングバンド・バントワリング〕部門合同発表会



音楽4部門発表会 器楽・管弦楽



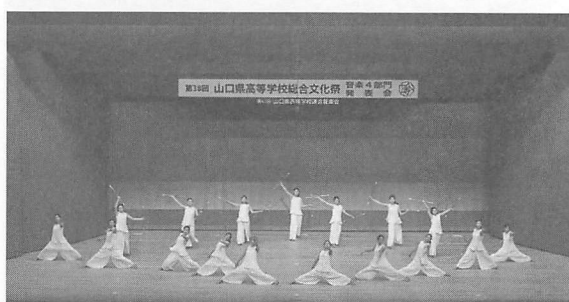
音楽4部門発表会 合唱



音楽4部門発表会 吹奏楽



音楽4部門発表会 マーチングバンド



音楽4部門発表会 バントワリング

各部門の報告

演劇部門

理事長 新 竹 伸 芳
(宇部高等学校教諭)

1 演劇部門活動報告

(1)地区大会(県内4地区)

周防地区 8月20日(土)

4校上演 シンフォニア岩国

山防地区 8月20日(土)

7校上演 山口南総合センター

宇部地区 8月20日(土)

5校上演 不二輸送機ホール

下関地区 8月10日(水)～11日(木)

7校上演 下関市生涯学習プラザ

地区大会は、例年通り8月に県内4地区で行われました。今年度は昨年より1校減って計23校の上演でした。その結果、各地区の最優秀校、計8校が県大会への出場権を得ました。

(2)演劇講習会

5月28日

ほしらんどくだまつ

今年度の演劇講習会は、5月28日(土)に下松市のほしらんどくだまつで、「劇団劇作家」代表の劇作家、篠原久美子先生を講師にお迎えして行われ、参加者59名、見学者32名、教員15名の総勢106名が集まりました。

「学校は努力と能力をほめる場だが、演劇は存在をほめる場である。」という篠原先生の言葉で始まった講習会の冒頭で、先生は、演劇を学ぶことによって身につけてほしい三つの力として、「人の話を聞ける力」「友達を尊敬する力」「自分を好きになる力」を挙げられました。

その後、参加者は7～8人ずつの8グループに分かれて、自己紹介やグループ名の決定・発表を行った後、起承転結を持った短いストーリーを作り、それをもとに全員出演の3分程度の場面を作って互いに発表し合いました。どのグループも、とても短時間で作ったとは思えないほど工夫を凝らした興味深い上演を見せてくれました。

篠原先生は、そのほか、人間は関係性と状況で変わる、こと、ハリウッド曲線、ストーリーとプロットの違い、説明的なセリフとそうでないセリフの違い、「笑い」の四つの段階

などを非常にわかりやすく説明してくださいました。先生が最後におっしゃった「大人は若い人を助けるために存在している」という言葉は、私たち教員の胸に深く突き刺さりました。

参加者にとっては、劇作の知識・技術だけでなく、生きる勇気を与えられた、非常に有意義な講習会だったと思います。

(3)第38回山口県高等学校総合文化祭演劇部門

10月29日～30日

シンフォニア岩国

4地区の代表、計8校の上演で行われ、審査の結果、光丘高校が3年連続で、西京高校が3年ぶりに中国大会への出場権を得ました。

生徒講評部門は、岩国総合高校の川森晶望音さん、防府西高校の馬場愛風さん、下関中等教育学校の藤本萌佳さんが最優秀に選ばれ、中国大会へ参加することになりました。



「僕の紅茶に入れるもの」 西京高等学校

(4)第54回中国地区高等学校演劇発表会

11月26日～27日

総社市民会館

中国各県代表の計11校が上演し、山口県からは、西京、光丘の2校が出場しました。残念ながら宮城総文への出場権が得られる最優秀賞には届きませんでしたが、光丘が2位にあたる優秀賞を受賞し、3月下旬に岐阜県大垣市で開催される第11回春季高等学校演劇研究大会へ

の出場が決まりました。西京も創作脚本賞を受賞し、両校とも、県代表の名に恥じない活躍をしてくれました。

また、生徒講評委員として参加した岩国総合高校の川森晶望音さん、防府西高校の馬場愛風さん、下関中等教育学校の藤本萌佳さんの3名も県代表として意欲的に講評活動に参加してくれました。

(5)各地区の活動

2月4日(土)

第22回周防地区高校演劇新人大会

(アクティブやない)

2月12日(日)

宇部地区高等学校演劇講習会

(サビエル高等学校)

3月30日(木)

第24回下関地区演劇連盟合同公演

(下関市生涯学習プラザ)

2 第38回山口県高等学校総合文化祭演劇部門の記録

今年度の県総文祭演劇部門大会は、10月29日(土)・30日(日)に、シンフォニア岩国の多目的ホールで開催されました。

上演校数は昨年より1校少ない計8校でしたが、それを

補うだけの内容ある大会でした。また、8校中5校が創作脚本で、その大半が生徒創作でした。本県でも脚本作りに挑む生徒が確実に増えているようで、今後が楽しみです。

講師は今年も篠崎光正先生にお願いしました。登場人物が本音を隠すことによって観客がその人物に感情移入してドラマが生まれること、現実の中のリアルと舞台上のリアルは違うことなどを、時には実演を交えながら、熱く語っていただきました。今大会の上演を見て、改めて県全体のレベル向上を感じましたが、これも長年にわたる篠崎先生のご指導の賜物と感謝しております。

また、講評の後、審査員としてお迎えした室積光先生からも貴重なご助言をいただきました。



「みえない、いと」 光丘高等学校

第38回山口県高等学校総合文化祭(演劇部門)・第35回山口県高等学校演劇大会上演一覧(上演順)

◎は最優秀校(中国大会出場) ◇は創作 ○は創作脚本賞 ※8校 110名参加

華陵高等学校	◇或いは「デ・味・So」	無頼花／作
宇部高等学校	◇右向け左	○田村 将／原案、宇部高校演劇部／作
◎西京高等学校	◇僕の紅茶に入れるもの	有未 ナツキ／作
田部高等学校	I am a little girl.	岡部 敦／作、田部高校演劇部／潤色
宇部中央高等学校	◇シャノワール	○益村梨紗／原案、宇部中央高校演劇部／作
下関西高等学校	コンクリート・フーガ2016	紗乃 みなみ／作、下関西高校演劇部／潤色
山口中央高等学校	ひととせ	奥田 菜津／作
◎光丘高等学校	◇みえない、いと	緋岡 篝／作

講師・審査員

篠崎 光正(演出家、文教大学情報学部メディア表現学科教授、電劇主宰、シノザキスタジオ代表)

室積 光(作家、俳優)

近藤 真美(山口県立防府西高等学校演劇部顧問)

各部門の報告

合唱部門

理事長 松 屋 まなみ

(萩高等学校教諭)

1 各部門の活動報告

(1) 平成28年度第38回山口県高等学校総合文化祭開

幕式典において慶祝演奏

期 日 6月16日(木)

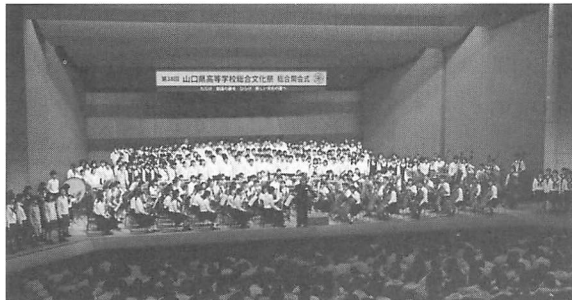
内 容 山口県高等学校管弦楽団との合同演奏

曲 目 フィンランディア賛歌

“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”

出 演 者 山口県高等学校合唱団／10校 248名

会 場 山口市民会館



総合開会式 慶祝演奏 山口県高等学校合唱団

(2) 平成28年度第38回山口県高等学校総合文化祭音

楽4部門発表会

期 日 6月17日(金)、18日(土)

会 場 山口市民会館

出 演 者 7校 226名

(3) 第40回全国高等学校総合文化祭

期 日 8月3日(水)

会 場 はつかいち文化ホールさくらびあ(広島県廿日市市)

曲 目 「一詩人最後の歌」

参 加 校 山口県代表／山口県立防府高等学校

(4) 山口県高等学校合唱講習会

期 日 平成28年5月28日(土)

講 師 石橋 久和(合唱指揮者)

内 容 総合開会式慶祝演奏に向けての演奏技術向上のための講習会

曲 目 フィンランディア賛歌

“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”

会 場 山口市民会館 小ホール

参 加 者 9校 234名

(5) 平成28年度山口県高等学校文化連盟合唱部会及び研修会

期 日 平成28年12月2日(金)

会 場 山口県立萩高等学校中会議室

出 席 者 部会長以下7名

議 題 県総文、全総文、高文連表彰などについて

2 山口県高等学校総合文化祭の記録

会場: 山口市民会館

平成28年度第38回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月16日(木)「山口市民会館」にて盛大に開催されました。例年のように、器楽・管弦楽部門と合唱部門と合同で慶祝演奏に参加しました。オーケストラと共に、10校248名の大会合唱は、広い会場の隅々に美しく響き渡り、生徒達の緊張の中にも熱い気持ちの入った高校生らしいさわやかな歌声は、満員の聴衆の方々にも深い感銘を与えたことと思います。日頃小人数で部活動をしている生徒が多いため、他校との合同合唱は勿論のこと、オーケストラとの共演はとても貴重な体験になりました。

また、翌日からの音楽4部門の発表は、6月17日(金)、18日(土)の2日間、高校生の気迫あふれる演奏が続きました。合唱部門の出演は、7校226名であり、各校の特徴を生かしたプログラムで、美しく柔らかな歌声が響き渡り、

個性あふれる演奏を披露しました。

近年は合唱部の廃部・休部による参加校の減少が問題でしたが、一昨年から男子部員の増加や新しく参加される高校があり、200名を超える生徒数になってきています。今後も生徒数の減少や指導者不足等の問題はありますが、この総合文化祭を契機に各校の生徒同士が切磋琢磨して、より質の高い音楽を奏でられるようお願いしています。来年度の「シンフォニア岩国」でも、素晴らしい演奏を期待しています。



音楽4部門発表会

3 その他

平成28年度NHK全国学校音楽コンクールや全日本合唱コンクールの中国コンクールで山口県勢が金賞を獲得して複数校が全国大会に出場しました。

4 第40回全国高等学校総合文化祭に参加して

山口県立防府高等学校合唱部

部長 兼重未菜実

私たち防府高校合唱部は、8月3日に広島県で開催された第40回全国高等学校総合文化祭に参加させて頂きました。同じ合唱をする、全国の高校生の素晴らしい演奏を聞くことが出来ました。

全国高等学校総合文化祭では、コンクールの県大会が近かったため、コンクールの自由曲である「一詩人最後の歌」を演奏しました。今年は6月頃からこの曲に取り組みました。夏休みには、歌詞に込められた思いはどんなことなのか、強弱記号にはどのような意味があるのかなど、部員同士で話し合いました。曲を理解することによって、それまでよりも上手に表現をつけることが出来るようになりました。この曲は、県高等学校総合文化祭、防府高校の定期演奏会などでも演奏しましたが、顧問の先生、外部講師の先生、合唱部OB・OGの方々のご指導により、舞台の回数を重ねるたびに、よりよい演奏が出来るようになりました。広島県での演奏では、曲に込められた詩人の思いや自分たちの思いを、聞いて下さる方々に届けることが出来たと思います。また、この文化祭では、他校のきれいでまとまっている演奏や、大人数でとても迫力のある演奏など、様々な演奏を聞くことが出来ました。防府高校の課題である、曲に勢い、迫力が無いのはなぜかということ、他の高校の演奏を聞き、改めて考えることが出来ました。

全国の高校生の合唱を聞くという機会は、ほとんど無いと思います。全国高等学校総合文化祭に参加させていただき、とても良い経験になりました。これからも、歌うことが大好きな部員達と、合唱を楽しみたいと思います。

全国高等学校総合文化祭という舞台に参加できたことを誇りに思います。ありがとうございました。



防府高校合唱部

各部門の報告

吹奏楽部門

理事長 志 道 博 資

(宇部高等学校教諭)

1 平成28年度の吹奏楽専門部の活動報告

(1) 第38回山口県高等学校総合文化祭総合開会式式典 における慶祝演奏

- *開催日 平成28年6月16日(木)
- *会場 山口市 山口市市民会館
- *参加演奏 山口市内高等学校吹奏楽団 65名
- *演奏曲目 スピリティッド・アウェイ
- *指揮 岸 美砂子(中村女子高等学校)



総合開会式 慶祝演奏 山口市内高等学校吹奏楽団

(2) 第38回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表 会・第67回山口県高等学校連合音楽会

- *開催日 平成28年6月17日(金)、18日(土)
- *会場 山口市 山口市市民会館
- *参加演奏 50団体1, 650余名

(3) 第40回全国高等学校総合文化祭

- *開催日 平成28年8月2日(火)、8月3日(水)
- *会場 広島県広島市 広島文化学園HBGホール(広島市文化交流会館)
- *参加演奏 山口県立柳井高等学校
(2日目プログラム11番)
- *演奏曲目 楽劇「サロメ」から“7つのヴェールの踊り”
エル・クンバンチェロ
- *指揮 田中 哲次(柳井高校吹奏楽部顧問)

(4) 吹奏楽専門部総会・研修会

- *開催日 平成28年12月5日(月)
- *会場 山口県立宇部高等学校会議室
- *参加人数 33名
- *講師 木村美千子 先生(打楽器奏者)

2 山口県高等学校総合文化祭の記録

平成28年度第38回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が6月16日(木)に、山口市の山口市市民会館で開催されました。開会式典での慶祝演奏には、山口市内にある高等学校の吹奏楽部員から、65名を選抜した合同吹奏楽団が本専門部を代表して参加いたしました。本番では中村女子高等学校の岸美砂子先生の指揮により、映画「千と千尋の神隠し」の音楽を基調とした「スピリティッド・アウェイ」を演奏いたしました。生徒たちの豊かな感性と音楽の流れに引き込まれる素晴らしい演奏でした。

また、6月17日(金)と18日(土)には、同会場において音楽4部門発表会を開催いたしました。この2日間で50団体1,650余名が日頃の練習の成果を発揮し、立派な演奏を披露いたしました。この発表会を通して同じ意識を持つ多くの仲間存在に気付くとともに、新たな音楽の表現を創造しようとする意識が高まることを期待しています。



音楽4部門発表会

3 全国高等学校総合文化祭吹奏楽部門参加報告

山口県立柳井高等学校吹奏楽部

顧問 田中 哲次

平成28年8月2日(火)、3日(水)の両日、広島市の広島文化学園HBGホールにて、第40回全国高等学校総合文化祭吹奏楽部門が開催されました。柳井高等学校吹奏楽部は2日目に出演させていただき、吹奏楽コンクールの自由曲として演奏した、R・シュトラウス作曲 楽劇「サロメ」から“7つのヴェールの踊り”と有名なラテンナンバー フェルナンデス作曲「エル・クンバンチェロ」を演奏しました。

演奏面でも部活動としても未熟な柳井高等学校吹奏

楽部が、初めての大きな舞台である全国総文に参加させていただいたことは、部員にとっても顧問にとっても、本当に貴重で素晴らしい体験になりました。一日目、せっかくだから他県の代表の素晴らしい演奏を聴こうと、広島に赴きました。もちろん、どの団体の演奏も素晴らしかったのですが、部員たちが口々に賞賛したのは、運営の素晴らしさです。楽器の搬入、誘導、ステージの準備、撤収、会場内の案内等、おそらく多くが吹奏楽部員の高校生、高等学校教員なのでしょうが、「同じ高校生がここまでできるのか」と感嘆の思いでいっぱいになりました。司会・進行も時間や様子に合わせて、会場の雰囲気を上手に盛りあげながら進めていく姿に、このような大きな大会を経験したことのない本校部員にとっては驚きの連続でした。特に、2日目の閉会式での実行委員長のあいさつは部員全員が感動していました。遠方の参加校は帰路について、やや寂しい会場でしたが、2日間の大会運営に向

けての長期間の苦労、それを乗り越えたことによる大きな人間的な成長を感じさせる素晴らしいスピーチで、多くのスタッフの苦労が報われたと感じさせる瞬間でした。

参加された多くの団体が、おそらくコンクールの自由曲を演奏し、もう1曲パフォーマンスを交えた曲を演奏していました。自由曲はとても完成度が高く素晴らしい演奏でしたし、もう1曲の方も企画が凝っているものが多く、音楽の楽しさや明るさを音楽が大好きではない人たちにも伝えようとしていることが強く感じられました。1日目夕方の交流会で、柳井をアピールしたり、他県の高校生と交流できたことは、何事にも代え難い貴重な経験をすることができたと同時に、2日間の体験はまだまだ未熟な本校吹奏楽部の目標を明確にすることができたと確信しています。

全国高等学校総合文化祭に参加の機会をいただけたことに、部員及び顧問一同、心から感謝しております。



2016 ひろしま総文での演奏



柳井高校吹奏楽部

器楽・管弦楽部門

理事長 秋 本 隆

(下関南高等学校教諭)

1 第38回山口県高等学校総合文化祭総合開会式に おける合唱部門との合同による慶祝演奏

期 日:6月16日(木)

会 場:山口市民会館

演奏曲目:佐藤 真作曲 カンタータ《土の歌》より“大地讃頌”
シベリウス作曲 交響詩《フィンランディア》
村井 邦彦作曲 《翼をください》

指 揮:西村 正浩

演 奏:山口県高等学校管弦楽団・合唱団

2 第38回山口県高等学校総合文化祭音楽関係4部門発表会

期 日:6月17日(金)、18日(土)

会 場:山口市民会館

演奏種目:オーケストラ、弦楽合奏、ギター・マンドリン合奏の演奏
参加人数:6校/260名

3 第40回全国高等学校総合文化祭(2016ひろしま総文)

期 日:8月1日(月)、2日(火)

会 場:広島県呉市 呉市文化ホール

参 加 校:山口県立岩国高等学校

演奏曲目:ニコラス・ラウダス作曲 《エカーヴの嘆き》

4 平成28年度山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会

期 日:12月5日(月)

場 所:下関南高校会議室

議 題:第36回器楽・管弦楽スプリングコンサートについて、
県総文、全国総文、高文連表彰、役員改選など

5 第36回山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽スプリングコンサート

期 日:平成29年3月28日(火)

会 場:下関市生涯学習プラザ(海のホール)

主 管 校:山口県立下関中等教育学校

演奏団体:部門所属7校

今年度の全国高等学校総合文化祭において、本県代表の岩国高等学校プレクトラムアンサンブル部が素晴らしい演奏を披露いたしました。本県の器楽・管弦楽部門

のレベルは全国的に見ても、非常に高いものであり、次年度以降もますます発展していくことと期待しています。

6 全国高等学校総合文化祭の記録

山口県立岩国高等学校プレクトラムアンサンブル部

部長 伊藤 晴貴

私たち岩国高校プレクトラムアンサンブル部は現在2年生11人、1年生8人の計19人で毎日楽しく和気あいあいと練習に励んでいます。このたび、「第40回全国高等学校総合文化祭2016ひろしま総文」の器楽・管弦楽部門に山口県代表として出場させていただきました。私たちはニコラス・ラウダス作曲のエカーヴの嘆きという曲を3年生4人、2年生11人の計15人で演奏しました。この曲はテンポの変化が激しく、さらに指揮者のいないアンサンブルという形で弾くので、全員で息を合わせるのが大変で非常に演奏するのが難しかったです。しかし、日々の練習と先輩方の熱いご指導を通じて部員全員が少しずつまとまっていくのを感じ、なんとか形にすることができました。

また、この大会で3年生は引退することになっていたの、私たち2年生は先輩方と弾ける喜びと感謝を胸に、本番当時は私たちができる最高の演奏ができました。素晴らしいホールで全国の高いレベルの演奏に触れながら、3年生との最後の演奏をすることができ、本当にうれしく思います。ありがとうございました。

この全国総文祭では私たち自身のレベルアップを感じたと同時に他校の表現の豊かさや音の統一感などに気づき、より一層高いレベルへ進んでいこうと思うようになりました。これからも精進していきたいと思えます。



岩国高校プレクトラムアンサンブル部

日本音楽部門

理事長 杉 尾 文 子
(柳井高等学校教諭)

1 平成28年度日本音楽部門の活動報告

今年度の日本音楽部門の活動は6月16日(木)、総合開会式(山口市民会館)での野田学園高等学校箏曲部の慶祝演奏で幕を開けました。6月18日(土)には宇部鴻城高等学校の主管により山口県高等学校総合文化祭日本音楽部門発表大会(宇部市文化会館文化ホール)が開催されました。全国高等学校総合文化祭では日本音楽と郷土芸能は別の部門として存在しますが、山口県の日本音楽部門は箏曲、三味線、和太鼓、郷土芸能と多彩な内容です。優雅さと激しさ、繊細さと大胆さをあわせ持つ日本の伝統文化の奥深さを感じる発表大会で、参加生徒は他ジャンルの演奏に刺激を受ける1日となりました。



県総文 合同演奏

第40回全国高等学校総合文化祭「2016ひろしま総文」の郷土芸能部門は7月30日(土)～8月1日(月)に三原市芸術文化センターで行われ、県の代表として宇部鴻城高等学校太鼓部が演奏しました。次年度の宮城大会には徳山高等学校が日本音楽部門に参加する予定です。

2 平成28年度山口県高等学校総合文化祭を終えて

宇部鴻城高等学校(主管校)

太鼓部顧問 鰐石 豪

6月18日(土)、宇部市文化会館 文化ホールにおいて、第38回山口県高等学校総合文化祭日本音楽部門発表大会が、箏曲12校、和太鼓2校、長唄三味線・郷土芸

能各1校、全16校(143名)の参加で盛大に行われました。開会式での祝辞の中で、宇部市に全国的にも数少ない琴の製作所があることが紹介されました。そんな琴には縁の深い土地での、箏曲を中心とした発表大会となりました。

各学校、それぞれの楽器や楽曲の魅力を伝えるために、試行錯誤しながらも練習を重ねてきたことと思います。そして発表会では、舞台上上がる生徒だけではなく、舞台には上がれなかった生徒、そして指導者の気持ちが一つになった演奏を聴かせてくれました。また、合同演奏では、9校22名の生徒が古典曲「六段の調べ」に挑戦し、午前中最後の演奏に華を添えました。

講評の中で、参加校の多くが地域の外部講師の方々の指導によって成り立っていることへの感謝の言葉もあり、本大会がいかに多くの方々を支えられているかを改めて感じる事となりました。

本校は太鼓の演奏で参加させていただいているため、箏曲や長唄三味線などに触れる機会は本発表会でしかありません。本校の生徒に限らず、他校の演奏を聴き、また観ることが、今後の活動や演奏に大きな影響を与えていくものだと思います。本校生徒会長の開会式での挨拶の中で、「先人は『音楽の力』によって様々な苦難を乗り越え、そしてそれを伝承してきた」ことを述べていました。今発表会に参加したすべての生徒が、日本音楽を通して、音楽の力の大きさを再発見した一日であったと思います。



県総文 太鼓

3 第40回全国高等学校総合文化祭(ひろしま総文) 郷土芸能部門に参加して

宇部鴻城高等学校太鼓部

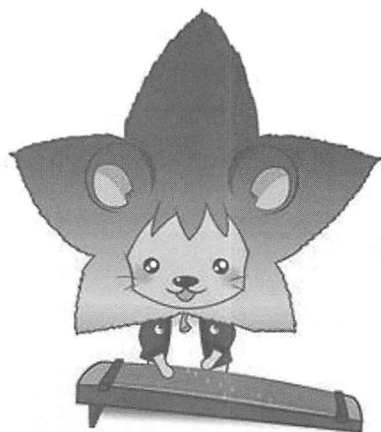
部長3年 山田 尚輝

全国高校総合文化祭への出場は、本当に考えてもみなかったことでした。本校の太鼓部が全国大会の舞台に立ち演奏することができるのかという不安を感じる一方で、他県の郷土芸能や演奏などを肌で感じ取れることへの喜びも同時にありました。

昨年の秋に部長となり、全国高校総合文化祭へ向けての挑戦がスタートしました。その当時、私たちには大舞台での演奏に対する実感がなく、また技術も未熟で、練習にも緊張感がありませんでした。パチの振りも小さく、また音も小さいがゆえに曲の強弱もつかず、リズムもかなり乱れていました。しかし新年度を迎え、新学年になったことをきっかけに、部員全員が心を一つにし、練習にも熱をいれて取り組んできました。徐々にその成果は現れ始め、ひとりひとりの演奏の姿、また音やリズムも変わってきました。また、これまでなかったものを新たに付け加えていくなど、積極性も出てきたように思います。全国高校総合文化祭前の重要な演奏会である県の高校文化祭では、緊張感の中で、自分たちの演奏ができたこともあり、全国大会への自信にもなりました。

全国高校総合文化祭郷土芸能部門は、三原市の芸術文化センターで3日間行われました。私たちの演奏は初日でしたが、他県の出演校の演奏は、技術はもちろんのこと、曲の構成、統一感など思った以上にレベルが高く、「演奏」に対する考え方が大きく揺さぶられました。

私たちの演奏は、派手さはなく、シンプルなものでしたが、自分たちが受け継いできた技術や曲を十分に表現できたと思います。この大会は私にとっても、宇部鴻城太鼓部にとって、新たなスタートとなる貴重な経験でした。この舞台に立たせてもらったことに感謝しつつ、自分たちの良さをさらに磨き、また新たなチャレンジをしていこうと思っています。



2016ひろしま総文 マスコットキャラクター “もみおん”



宇部鴻城高校太鼓部

各部門の報告

マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 志 道 博 資
(宇部高等学校教諭)

平成28年度マーチングバンド・バトントワリング専門部の活動について報告いたします。

1 第38回山口県高等学校総合文化祭総合開会式典における慶祝演奏

平成28年6月16日(木)に山口市の山口市民会館で開催された総合開会式での式典慶祝演奏に、部門を代表して山口県鴻城高等学校が出演いたしました。本番では顧問の内田良一先生の指揮で、「サンチェスの子供たち」を優雅に演奏し、それに合わせて息の合った演技を披露いたしました。



総合開会式 慶祝演奏①



総合開会式 慶祝演奏②

2 第38回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

平成28年6月17日(金)・18日(土)に、山口市の山口市民会館で開催された音楽4部門発表会に、宇部市の慶進高等学校と山口市の山口県鴻城高等学校が参加いたしました。

慶進高校は同校の中学生も参加して17人のバトントワリングによる、華麗で息の合った演技を披露いたしました。

また、山口県鴻城高校は25人のマーチングバンドにより、優雅でまとまりのある演奏演技を披露いたしました。



音楽4部門発表会 慶進高校①



音楽4部門発表会 慶進高校②



音楽4部門発表会 山口県鴻城高校

3 第40回全国高等学校総合文化祭

平成28年8月1日(月)に広島県廿日市市の廿日市市スポーツセンター・サンチェリーで開催されました。今年度も本県内の他の行事と日程が近いことや、自校の行事との関係で参加は困難でした。

美術・工芸部門

理事長 濱 崎 洋

(徳山高等学校教諭)

1 第38回山口県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門

11月11日から13日まで周南市美術博物館で開催されました。美術・工芸部門には県内41校より144点の出品がありました。内訳は平面138点、立体6点です。レベルの高い大作が多く、平面では約9割の作品が50号やB1の出品規定最大のサイズでした。

審査では29点が優秀賞に選ばれ、その中から6点が来年度の全国高等学校総合文化祭〈みやぎ総文2017〉の出品候補作品に選ばれました。

講評会では5名の各審査員が「話をしたい作品」をそれぞれ5作品選び、その良さや表現方法などについて話をされました。生徒たちは互いの作品を鑑賞し合うことで美術表現についての視野を広げることができ、今後の表現活動のよい原動力となりました。



県総文 展示風景



県総文 講評会風景

優秀賞(全国高総文祭出品候補作品)

学校名	氏名	学年	題名	大きさ	種別
岩国高等学校	中村 桃子	2	憧れの都会	F50 横	絵画
光丘高等学校	伊藤ロナン	2	Pubertal Girl	B1 縦	デザイン
下松高等学校	藤井 萌花	2	雨粒のポケット	85cm×85cm×高60cm	立体
徳山高等学校	瀬山 華子	2	飛ぶものたち	F50 横	絵画
下関南高等学校	中丸 果音	2	迷漂	F50 縦	絵画
野田学園高等学校	藤川 恵	2	同じ景色	B1 横	デザイン

優秀賞

学校名	氏名	学年	題名	大きさ	種別
岩国高等学校	陶山 薫・吉村 仁江・田中 理奈	2	ピーマン	100cm×90cm×高120cm	立体
岩国高等学校	松前みなみ	2	混沌(カオス)な空間	F50 縦	絵画
岩国高等学校	柳原 萌恵	2	夕暮れのカーテン	P50 横	絵画
岩国総合高等学校	木戸 悠介	3	キャットラベル	F30 横	絵画
光丘高等学校	伊藤 瑞月	2	この手で	F50 縦	絵画
光丘高等学校	園田 桃南	2	午後2時50分	F50 横	絵画
徳山高等学校	神尾 真奈	2	Mrs.マドモアゼルの乙女脳JK症候群	B1 縦	デザイン
徳山高等学校	森田 優衣	2	夢になりたい	F50 横	絵画
徳山高等学校	宮田 萌	1	略奪的な音を楽しんで	B1 横	絵画
防府西高等学校	石川 侑花	1	そこにある物	B1 横	絵画
防府西高等学校	桑原 百加	1	現実逃避	B1 横	絵画
山口高等学校	吉岡 幸音	2	熱中	F50 縦	絵画
宇部商業高等学校	佐々木涼葉	2	春を告げる鯨	B1 横	デザイン
宇部工業高等学校	藤井 晴菜	3	I was here	B1 縦	絵画
豊浦高等高等学校	能埜 真依	2	彼岸花	B1 縦	絵画
下関南高等学校	櫛田 恵美	2	脳内極楽	F50 縦	絵画
大津緑洋高等学校	福浦 遥	3	Musical City New York	F50 縦	絵画
下関中等教育学校	和田安加里	2	渴望	F50 横	絵画
下関中等教育学校	大庭輝良々	1	軌跡	F50 横	絵画
下関商業高等学校	久我 美月	2	この地球に生まれて	B1 縦	デザイン
下関商業高等学校	藤山 耀	2	これが僕の自由	B1 縦	デザイン
サビエル高等学校	内野 めぐみ	2	鳥に囲まれた自画像	B1 縦	デザイン
サビエル高等学校	岡本 ありさ	2	離してくれるな	F50 縦	絵画

2 美術・工芸専門部連絡協議会および研修会

10月7日に徳山高等学校で行いました。協議会では今後の美術・工芸の大会運営や、県総文祭美術・工芸の審査方法について意見交換がなされました。研修会では、全国大会の作品を一点一点スライドで、多様なレベルの高い作品を観ることで今後の指導の参考にしました。また、光丘高等学校美術部の活動について研究発表がありました。

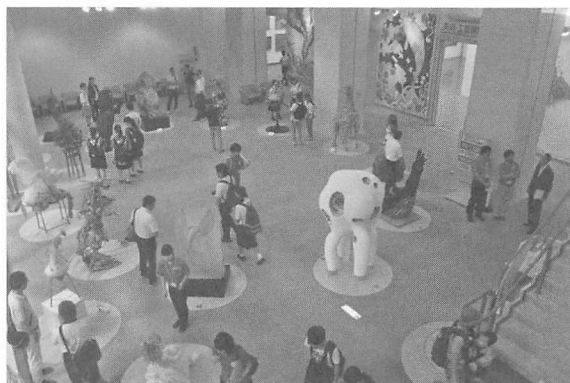
3 第40回全国高等学校総合文化祭(2016ひろしま総文)美術・工芸部門

7月30日(土)～8月3日(水)の5日間、全国の都道府県で選ばれた絵画、彫刻、デザイン、版画、工芸、映像等400点の優秀作品が、広島県立美術館に展示されました。その中にあって、本県から出品した平面作品6点はそれぞれに作者の思いや気持ちが込められた完成度の高い作品として全国にアピールしていました。全国のレベルの高い作品を鑑賞した本県6名の生徒も、視野が広がり、感性を豊かにし、今後の表現力を高める原動力になったことと思います。

今大会は美術・工芸部門に参加した生徒は総合開会式に出席する日程になっており、広島県立総合体育館の大アリーナで総合開会式を観覧し、次の日に広島県立総合体育館の武道場で行われた部門開会式、講演・講評会に出席することとなりました。部門開会式では全国高文連美術・工芸の稲見和子会長から、「この大会は『伝統と創造が織りなす最高峰の文化の祭典』であり、制作者の皆さんはこの場に参加できる幸せを十分に感じていることと思う。交流会では作品制作時のアイデアの発想や技能、技術にまつわる苦労話など、ともに語らい、互いの作品を鑑賞して切磋琢磨してほしい。」という内容のあいさつがありました。

講演会・講評会では明治学院大学教授で日本美術史家・美術評論家の山下裕二先生をお迎えして、「日本美術へのいざないー伊藤若冲を中心にー」という演題で、伊藤若冲の独創的な表現や緻密さについてや、教科書だけで作品を見るのではなく、実際に本物を見ることが大切であることなどを話されました。また、山下先生がピックアップされた生徒作品17点をあげて、発想のおもしろさやばかばかしさ、完成度の高さなどについて講評をいただきました。大学でも講評をするが、こちらの作品の方がよっぽどいい。お世辞ではなく、本当にすばらしい作品が集まっているとおっしゃっていました。

交流会は「交流会1」、「移動交流(案内・ゲーム)」、「交流会2」という流れで行われました。「交流会1」は、広島県立総合体育館武道場で「けん玉交流」が行われ、世界チャンピオンの模範演技を見た後、実際にけん玉をして交流を深めました。「移動交流(案内・ゲーム)」では、広島県立美術館に徒歩で移動しながら広島の観光案内とゲームを実施しました。「交流会2」では、各班で班のメンバーの作品を対話式で鑑賞してまわりました。美術館には広島の生徒がデザインした「アートけん玉」も展示されていました。



2016 ひろしま総文 会場風景



2016 ひろしま総文 山口県 展示風景

以下、参加した生徒のみなさんより感想をいただいています。

山口県立岩国高等学校3年 阪口友佳子 題名「家」

今回、ひろしま総文に参加して、全国から集まってきた作品の迫力に圧倒されました。どの作品からも力強さがあふれ出てくるようでした。また、アイデアや配色、塗り方など、自分とは違うものばかりで、多くのことを学ぶことができ、新しく世界が広がりました。普段は間近では見ることのできない全国の高校生の作品に接することができ、とても良い経験となりました。

山口県立柳井高等学校3年 大浴 紗那 題名「届いてほしい」

今回、全国高等学校総合文化祭に初めて参加させていただき、多くの同世代の作品を見て、その技術の高さに驚愕しました。自分の作品をとて小さく感じるほど、素晴らしい作品が数多くあり、自分の新たな課題をたくさん発見できました。今回の総合文化祭に参加できて、本当によかったです。今回学んだことを、今後の作品作りに活かしていきたいです。

山口県立光丘高等学校3年 千同 沙季 題名「口は災いのもと」

ひろしま総文では、多くの出会いと感動、発見がありました。他県の高校生と交流し、一緒に作品鑑賞をしながら、自分の視野を広げることができました。また、同年代の人たちがそれぞれの感性と技術を磨くために日々、努力をしているということを知り、「私も、もっと頑張らなければ」と心が奮い立ちました。この貴重な体験を様々な場面で生かしていきたいです。

山口県立宇部商業高等学校3年 西浦 友香 題名「訴え」

初めて全国高等学校総合文化祭に参加し、全国の沢山の作品を見て、私には足りない物を見つけることができ

ました。技術はもちろんですが、作品に対する熱い思いが周りの人と比べて足りなかったことを感じました。作品から感じられる熱い思いが、広島太陽よりも熱く、私の中で一番印象に残る夏になったと思います。

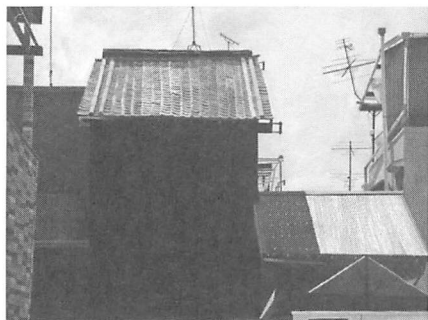
山口県立下関南高等学校3年 横山 りお 題名「秘めた闘争心」

2016ひろしま総文に参加するという貴重な体験ができたのはとても嬉しかったです。全国のハイレベルな作品を実際に見るのは初めてで、表現の仕方、色の選び方など、勉強になりました。また、今まで他校の生徒と交流することはあまりなかったので、全国各地の高校生と交流できたのは新鮮でした。今回の体験を今後に生かしていきたいです。

下関商業高等学校3年 大神 麗華 題名「しあわせのもと」

400点もの全国の作品を見て感じたのは、枠に収まらず、常識なんてまるでそこにはなく、自由な世界が広がっているということでした。一つ一つの作品を見る度に胸が高鳴り、衝撃を受けました。実際に感じたことや交流会で学んだこと等、今回のこの貴重な経験をしっかりと心に留めてこれからの活動に活かしていこうと思います。

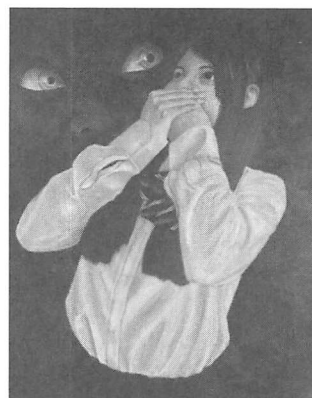
《2016 ひろしま総文 出品作品》



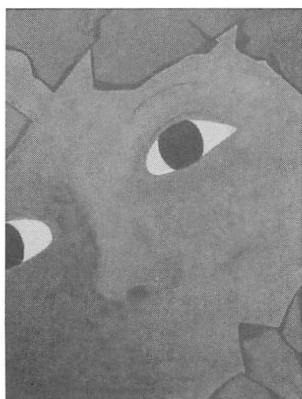
題名「家」



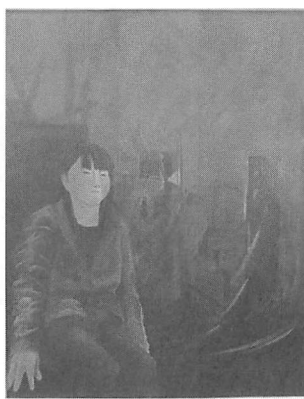
題名「届いてほしい」



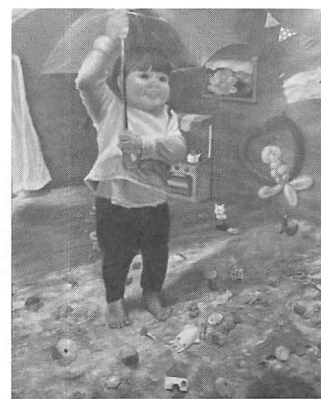
題名「口は災いのもと」



題名「訴え」



題名「秘めた闘争心」



題名「しあわせのもと」

書道部門

理事長 河 合 和 子

(下関中等教育学校教諭)

1 第38回山口県高等学校総合文化祭

10月22日(土)・23日(日)

シンフォニア岩国

今年は県内18校より79点が出品され、厳正な審査により、来年の全総文宮城大会への出品候補作品3点を含む優秀賞11点が選ばれました。臨書作品が多く、古典に向き合う中でどう個性を表現するか、とても真摯に努力を重ねた高校生らしさのうかがえるものばかりでした。生徒研修会での共同作品も屏風に表装されて展示され、会場を彩りました。

2日目14時半からの講評会では、審査員を中心に講評をいただきました。緊張の中にも和やかに進められ、参加生徒は明日の部活動への意欲を感じてくれたものと思います。

《優秀賞～第41回全国高等学校総合文化祭2017みやぎ総文出品候補作品》

山口高等学校 2年 小野詩穂未

宇部西高等学校 1年 秋山 未希

下関中等教育学校 2年 河村 正

《優秀賞》

徳山高等学校 2年 藤井 絢子

山口高等学校 2年 大枝 結子

宇部西高等学校 2年 真鍋愛幸美

下関西高等学校 2年 木村向日葵

防府高等学校 2年 山本 陽香

下関中等教育学校 2年 水川裕紀子

下関商業高等学校 2年 大池 香純

長門高等学校 3年 高尾 真由



県総文 講評会の様子

2 第18回高文連書道部会生徒研修会

9月17日(土)、18日(日)

山口県セミナーパーク

今年度の生徒研修会は、新鮮で、内容の濃い充実した2日間を過ごすことができました。

1日目午前中は1字大書創作、午後は山頭火の句を参加者全員がすべて違う句で創作しました。制作に当たり、まずは料紙を墨流しやぼかし染めの技法を学んで染め、それに揮毫しました。皆の作品を2曲の屏風に張り込み、共同作品として県の総合文化祭に展示できるようにしました。夕食後には、鑑賞会と講評会を行い、その後も自由練習の時間としました。2日目は、個人作品の練習で多くは県総文に向けて臨書作品を書き上げました。

運動部と違い、貴重な他校の先生や生徒と触れ合う2日間で、たくさんの刺激を受け、仲間として打ち解け、信頼しあえる充実の研修会だったと思います。来年からもこうした研修の機会を設けたいと思っています。



研修会の様子

3 第40回全国高等学校総合文化祭(広島大会)

7月28日(火)～8月1日(土)

県立産業会館・広島市南区民文化センター(広島市)

本年度の全国高等学校総合文化祭は、広島県にて、「2016ひろしま総文」の名称で開催されました。山口県からは、県内の総合文化祭で選出された4校が、県代表として出品しました。以下に参加者の感想を付します。

《第40回全国高等学校総合文化祭に参加して》

下関商業高等学校3年 前寺 美穂

私は広島県で開催された「全国高等学校総合文化祭」に参加しました。全国から出品された300点以上の作品は、一つ一つの表現力がすごくて圧倒されました。また書体も様々で、書道の奥深さに魅了されたたくさんの刺激を受けました。私自身非常に勉強になったと思います。交流会では記念品の制作をする中で他県の高校生と話をし、仲良くなることができ良かったです。この経験は、私にとって一生忘れることのない思い出となりました。

全国大会に出場することができたのは、先生方の熱心なご指導があったからです。また、いつも励ましてくれた家族、友達のおかげです。この経験を生かし、より一層書道に打ち込んでいきたいと思っています。

下関南高等学校 3年 水野 希耶

全国高等学校総合文化祭の参加資格をいただいたことは、私が長年目標にしていたことだったのでとても嬉しかったです。何十枚も練習し、自分の納得いく作品を出品することができました。総合文化祭では、一堂に会した各県代表者の作品の迫力に圧倒されました。同じ古典であつても一人一人雰囲気異なる点がおもしろく、また私の知らない古典もあり、もっと書道を学びたいと言う気持ちが湧き上がりました。さらに文化祭に参加することで多くの人と新たな出会いがあり、グループ制作を通して楽しい交流ができました。このように、総合文化祭での経験は、私にとってかけがえのないものとなりました。

下関西高等学校 3年 安重 春奈

総文での経験は、今後書道を続けていくにあたり大きな転機であつたと確信しています。展示会場で全国から集まった選りすぐりの作品の中にある私の作品を見て、夢のようで大変嬉しく思いました。一方で、周りの作品のレベルの高さに圧倒されました。高い技術はもちろんのこと、作品にかかる情熱、執念のようなものがひしひしと伝

わってきました。また、基礎はふまえながらも存分に自分を表現していました。私には、これらが足りないと感じました。今まで自分が「限界」と思っていたものは、勝手な決めつけであり、高いレベルの作品に触れ、常に上へ上へと意識を持ち続ければ、「限界」はないということを学びました。私にこのような素晴らしい機会を与えてくださった中井先生をはじめ総文にかかわり、尽力してくださったすべての先生方に感謝申し上げます。

下関中等教育学校 5年生 河村 正

私は広島県で開催された「全国高等学校総合文化祭」に参加しました。会場にあった全国の高校生の作品はどれも个性的で一つ一つが深く印象に残りました。同時により自分らしい作品を書きたいと思い、書道への意欲がさらに高まりました。また講評会では、数ある作品の中から自分の作品が取り上げられ、講評を頂き、自分が表現しようとしたことがしっかりと伝えられている手ごたえを感じることができ、とても嬉しく感じました。

この全国大会に参加することができたのは、先生のご指導、部員の皆の支えがあったからこそだと思います。多くの支えに感謝しながら、書道に邁進していきたいと思っています。



2016 ひろしま総文 参加者



2016 ひろしま総文 交流会の様子

各部門の報告

写真部門

理事長 尾 崎 勝 利

(新南陽高等学校教諭)

平成28年度の山口県高文連写真部門の活動状況について報告いたします。

1 平成28年度第40回全国高等学校総合文化祭(広島大会)写真部門

全国高校総文写真部門は全国展・企画展が7月30～8月3日の期間に、広島市の広島国際会議場で行われました。各都道府県の代表作品による全国展は、優れた作品が数多くあり、写真の取り組みに対する意識の高さが感じられました。

本県からも5点の作品が出品されました。なかでも新南陽高等学校3年の原村涼加さんの作品「道の駅の画伯」が、全体の第2席に相当する最優秀賞・文化庁長官賞を受賞しました。



2016ひろしま総文 山口県代表作品展示風景



2016ひろしま総文 写真部門表彰式にて(原村涼加さん・中央)



2016ひろしま総文 文化庁長官賞受賞作品「道の駅の画伯」

2 第38回山口県高等学校総合文化祭展示部門

11月11(金)～13日(日)周南市美術博物館にて県総文展示部門の作品展示が行われました。

今年度は昨年(124点)より多い14校143点の作品の応募がありましたが、写真部があっても作品提出のない学校が昨年よりも増加したのは残念です。一方、写真部や美術部に所属していない生徒の作品応募があり、優秀賞を受賞しています。写真部の数や部員の減少により、各校の年ごとによる部員数の増減により出品数が左右される現状です。部員数や出品数は他県と比較してかなり少ない状況であり、今後の部員数の増加や活動の活性化に課題を残しています。しかし、写真撮影はスマートフォンなどの普及に伴い、現在では誰もが毎日のように行っていることです。今後は写真部・美術部の垣根を超えた写真の啓発により、写真部会の活性化ができればと考えています。

また例年、審査員としてプロカメラマンである(社)日本写真家協会会員のタカオカ邦彦氏を迎え、プロの目による評価・講評を続けています。今年度は審査の結果15点が優秀賞に選ばれ、そのうち5点が来年の全国高校総文祭宮城大会への出品候補作品となりました。最終日の講評会ではタカオカ氏からののていねいな講評があり、参加された生徒・顧問の皆さんも学ぶことが多かったのではないかと思います。

準備・運営に携わってくださった役員の先生方、また補助員の生徒の皆さんに感謝いたします。

3 写真研修会・提出作品の講評会

展示部門の会期最終日に周南市文化会館に於いて、タカオカ邦彦氏による写真研修会があり、昨年と同様50名あまりの参加がありました。

午前中は県総文祭作品の講評会の後、参加生徒が提出した「現時点で最高の作品」を題材とした研修を行いました。作品をスクリーンに投影し、作品に対する本人の説明の後、講師からの講評・アドバイスを受けるという対話重視の研修を体験しました。午後からは、講師のニューヨークでの撮影作品をもとにして、人物撮影の研修を行いました。

また、2月には生徒・顧問から提出された作品に対して、タカオカ氏による作品講評がなされる、という形で

研修会を行います。

今後も同様な形で研修会を開催し、写真部員の技術向上に役立てたいと考えています。

4 その他の活動

2月4日(土)～5日(日)に横浜市内で行われた、第5回TopEye 全国高校生写真サミットに下松高等学校が出場しました(全国で15校)。

また、第23回全国高等学校写真選手権大会(写真甲子園2016)の本戦出場校を決める中国ブロック決勝5校に、下松高等学校と新南陽高校が進出し、5校中2校を山口県の高校が占め、山口県の写真レベルの向上を感じさせました。

第38回 山口県高等学校総合文化祭 写真部門受賞者一覧

(主催:山口県高等学校文化連盟 山口県 山口県教育委員会)

平成 28 年 11 月 11 日～13 日

周南市美術博物館

優秀賞(全国高等学校総合文化祭出品候補作品)

学校名	氏名	学年	題名
下松高等学校	中 村 彩 乃	2	雨の跡
	藤 井 美 帆	1	ツナグ
下松工業高等学校	徳 浪 利 紀	2	近くて遠い
新南陽高等学校	松 岡 希 枝	2	じっとしてて
	藤 井 千 裕	1	はじまり

優秀賞

学校名	氏名	学年	題名
光丘高等学校	久 保 莉 華 子	1	おいでよ!
下松高等学校	石 川 史 華	2	回り道はしない
	田 中 真 理 子	2	狐影
	石 井 そ ら	1	想ふ
	小野村妃佳里	1	一人遊び
	中 村 唯 花	1	ハンター
	西 浦 美 咲	1	小赤姫
南陽工業高等学校	杉 山 萌 花	3	黒い雫
	安 田 美 憂	2	一番
大津緑洋高等学校日置校舎	磯 部 光	1	一本道

各部門の報告

放送部門

理事長 徳 永 志 保
(光高等学校教諭)

1 第40回全国高等学校総合文化祭(2016ひろしま総文)

8月2日と3日、広島国際会議場で行われました。隣県開催ということもあり、代表生徒のみならず、各校とも多くの部員が見学に来て、読みや番組作りの勉強に励んでいました。今年度は、光高校の番組(オーディオピクチャー部門『海からの伝言』)が優秀賞を受賞しました。特別審査員である映画監督の大林宣彦さんからお褒めの言葉をいただいたり、代表としてステージに上らせていただいたりと嬉しいことが多くあり、制作した生徒は涙を流して喜んでいました。これを励みに、来年度の全国総文でも入賞を目指してより一層努力していこうと思います。



2016ひろしま総文 右から2番目 光高校・伊藤緋時部長

出場者・出場校は以下のとおりです。

朗読部門

下松高校	岡本 桃佳
	『きよしこ』重松清
山口高校	田中 泰平
	『とんび』重松清
徳山高校	井上 加奈子
	『エビスくん』重松清

アナウンス部門

光高校	村谷 紀明
	「期待を背負って」
下松高校	杉山 朝香
	「受け継がれてゆく平家踊り」

光高校 六反 咲
「若き三味線弾きの挑戦」

オーディオピクチャー部門

光高校 「海からの伝言」 ※優秀賞受賞

ビデオメッセージ部門

岩国高校 「暖の灯る山」
熊毛南高校 「なぎさのキズナ」



2016ひろしま総文 朗読をする山口高校・田中泰平君

2 第38回山口県高等学校総合文化祭第23回放送部大会

11月5日、山口市のニューメディアプラザで行われました。参加人数は、朗読部門38人(昨年比+6)、アナウンス部門33人(+2)、オーディオピクチャー部門4校4作品(+1)、ビデオメッセージ部門6校6作品(+0)となりました。

昨年度から審査員に放送部顧問が加わり、アナウンサー・ディレクター・放送インストラクターという専門家とともに審査をしました。この大会で入賞した生徒と番組は、8月に行われる宮城総文と1月に行われる中国大会に出場することになります。各学校とも部員が切磋琢磨し、健闘した大会となりました。

また、閉会後に、審査員の皆さんが出場者個人個人に指導してくださり、貴重な学びの場にもなりました。

朗読部門

最優秀賞 光高校 玉野 初季

		『出口のない海』横山秀夫
優秀賞	徳山高校	井上 加奈子
		『青い鳥』重松清
	高水高校	濱田 卯望
		『きみの友だち』重松清
入賞	熊毛南高校	門脇 彩華
		『ゼツメツ少年』重松清
	徳山高校	松本 萌花
		『静かな楽隊』重松清
	徳山高校	福島 祐香
		『まゆみのマーチ』重松清
	山口高校	山路 理梨香
		『向かい風に髪なびかせて』河合二湖
	下松高校	本多 莉子
		『駅までの道をおしえて』伊集院静
	山口高校	白坂 緋里
		『また次の春へ』重松清
	光高校	神代 奈緒
		『受け月』伊集院静

アナウンス部門

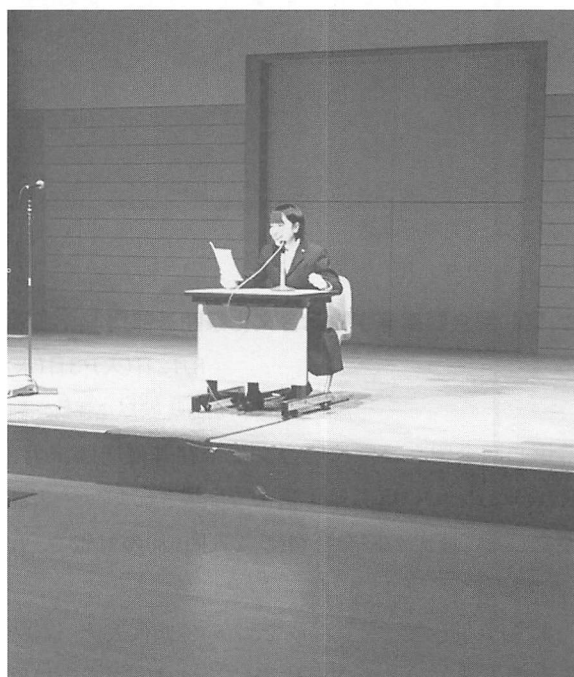
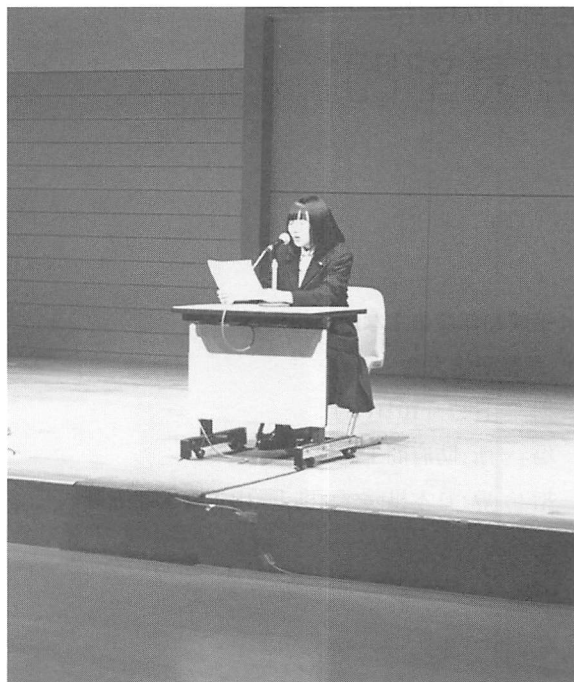
最優秀賞	光高校	六反 咲
優秀賞	光高校	長岡 阿衣璃
	山口高校	浦川 真依
入賞	光高校	三原 江理子
	徳山高校	藤原 加那
	下松高校	藤里 樹
	徳山高校	藤井 綾乃
	下関西高校	平原 早和子
	山口高校	田中 陽菜
	光高校	松下 眞子

オーディオピクチャー部門

最優秀賞	岩国高校	「小さな建物」
入賞	徳山高校	「消えてゆく日本を撮り続けた一人の写真家」
	光高校	「ゆるぼら」

ビデオメッセージ部門

最優秀賞	光高校	「神舞〜千年の夜明け〜」
優秀賞	岩国高校	「優しい灯り」
入賞	徳山高校	「Selp〜Help yourself〜」
	山口高校	「ねこには一…」
	熊毛南高校	「ヒカレ」



県総文大会の様子

3 アナウンス・朗読研修会

第1回は6月11日に NHK 杯と総文の2つの全国大会のための指導を徳山高校で、第2回は11月12日に中国大会のための指導と相互審査を岩国高校で行いました。

これらの研修の成果は着実に出ていていると思います。今年度のNHK杯では、アナウンス部門で2名、番組部門で1校が準決勝に進みました。よって、これからも研修を充実させ、よいご報告ができるように励みたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

囲碁部門

理事長 真 當 良 洋

(山口高等学校教諭)

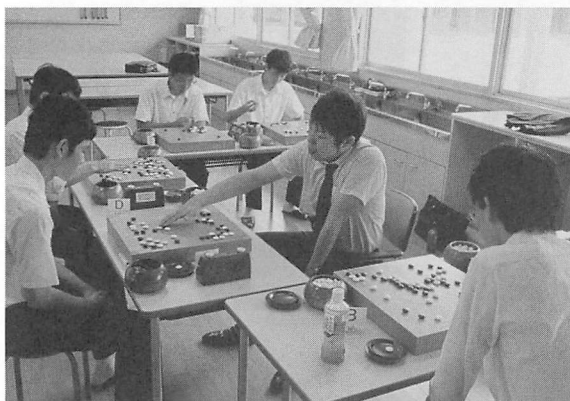
<平成28年度の主な活動報告>

1 囲碁研修大会

期 日:7月10日(日)

場 所:防府商工高等学校

指 導:日本棋院プロ棋士 山本賢太郎五段



研修大会・プロ対局風景

2 第40回全国高等学校総合文化祭囲碁部門

8月2日(火)・3日(水)

広島県尾道市「広島県立びんご運動公園」

第40回全国高等学校総合文化祭囲碁部門は、8月2日(火)・3日(水)に広島県尾道市で開催されました。広島県立びんご運動公園を会場に、2日間6局の対戦で、互いの棋力を競い合いました。

大会は、団体戦(男女混成で3名の各県代表チーム)と男女個人戦(各1名の各県代表)で行われます。山口県チームは、前年10月の県総文祭の上位入賞者が代表となって出場しました。対戦は、団体戦・個人戦ともに、勝者同士敗者同士を対戦させてゆき、2日間で6局の各対戦相手の勝敗も加味して順位を決めるスイス方式で行われます。参加した代表生徒はそれぞれに頑張り、また全国の高校生との交流を楽しんだようです。近年実力はかなり上がっており、成績も期待どおりのすばらしい結果となりました。

また、今回の大会には出場していませんが1・2年生も実力者が多く、全国大会でも活躍できる棋力の生徒も多く、次年度に繋がるよい結果ともいえる年度でした。

出場者と成績:

団体戦 田中 裕天 (徳 山)
尾本 裕樹 (徳 山)
岡村菜々子 (山 口) 3勝3敗18位

個人戦

男子 西村僚太郎 (防 府) 5勝1敗3位
女子 山田 愛 (山 口) 2勝4敗37位



2016ひろしま総文・対局風景



2016ひろしま総文 出場者



県総文・対局風景

3 第38回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門

10月23日(日)

防府商工高等学校

第38回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門第28回大会は、10月23日(日)に防府商工高校で開催しました。参加校は8校で、29名の生徒が参加しました。この大会は、全国大会代表と中国大会代表を決める代表決定戦と段級位認定戦とに分かれて行います。代表決定戦には男子16名、女子3名、段級位認定戦には10名の生徒が参加しました。

段級位認定戦には3年生の参加も認めており、高校最後の大会で目指す段級位を得ようと例年何人かの3年生が参加しています。生徒にとっては自分の段級位を認定してもらうことが大きな励みになっています。代表決定戦も段級位認定戦も、スイス方式で4回戦の対局で行います。大会結果(下記のとおり)

代表決定戦の上位男子3名と女子2名は、来年度宮城県白石市で開催される全国高等学校総合文化祭に出場することになります。全国高等学校総合文化祭では、男女混成3名で山口県チームを組む団体戦と男女各1名の個人戦に出場します。

大会結果

団体戦

男子 優勝 山口県立徳山高等学校
女子 該当なし

個人戦

男子 優勝 尾本 裕樹 (徳 山)
2位 金谷 佑策 (徳 山)
3位 中村 拓哉 (徳山商工)
女子 優勝 和田 渚 (山 口)
2位 林 彩香 (下 関 西)
3位 藤井 桜 (徳山商工)

4 第20回中国高等学校囲碁選手権大会

12月17日(土)・18日(日)

島根県出雲市「パルメイト出雲」

12月17日～18日に島根県出雲市で開催された第20回中国高等学校囲碁選手権大会には、男子団体戦に徳山高校、男子個人戦には、団体戦出場者を除く県内予選の男子上位6位までの選手、女子個人戦には、2名が出場しました。男子団体戦においては昨年度に続き徳山高校が出場し、全勝優勝し、3月大阪で行われる全国選抜大会への出場権を獲得しました。

出場者と成績:

団体戦

男子 徳山高等学校 5勝0敗1位

個人戦

男子 中村 拓哉 (徳山商工) 3勝2敗9位
山口 祥紀 (宇 部) 3勝2敗10位
佐野 旭 (徳 山) 3勝2敗14位
本間 仁人 (山 口) 2勝3敗23位
牛島 隼 (山 口) 2勝3敗24位
中村颯一郎 (徳山商工) 1勝4敗27位
女子 和田 渚 (山 口) 2勝3敗9位
藤井 桜 (徳山商工) 1勝3敗10位
林 彩香 (下 関 西) 2勝3敗12位



中国大会・対局風景

各部門の報告

将棋部門

理事長 弘 中 敏 之
(徳山高等学校教諭)

「棋は対話」といわれるように、対局は一人では成り立ちません。

昨今、AIによって社会の在り方が変化しつつあり、将棋の世界にも大きな影響が及んでいます。そのような時代だからこそ、生身の人間同士が対面し、礼を以て始まり礼を以て終えるリアルな対話としての対局の意味が再認識されつつあります。「対局者ファースト」の運営を通して、将棋が、自分自身を見つめ、友情を育む一助となるように努めています。

1 第38回山口県高校総合文化祭将棋部門

平成28年5月28日(土)・29日(日)

防府市文化福祉会館

男子団体 参加8校16チーム

第1位 徳山高校A

(大中 哲哉・山下 勝己・増田 真大)

第2位 下関西高校A

(中村 知堯・戎屋 祐汰・安永 悠紀)

第3位 下松高校A

(野崎 将広・本廣 直規・今村 繁希)

高川学園高校

(富永 大雅・宮崎 雅也・出蔵 笙太・原田 英和)

女子団体 参加2校4チーム

第1位 徳山高校A

(細瀬 摩利・古城 未麻・松山 結芽)

第2位 徳山高校B

(新本 真夕・峯重 美佳・西村 英代)

男子個人 参加11校58名

第1位 中島 秀幸(慶進1)

第2位 眞野 寛人(香川1)

第3位 藤井 雄二(聖光3)

敢闘賞 原田 大地(宇部工業2)

谷田 航大(防府2)

女子個人 参加2校8名

第1位 峯重 美佳(徳山2)

第2位 西村 英代(徳山2)

第3位 新本 真夕(徳山2)



県総文の対局風景

2 第40回全国高校総合文化祭将棋部門

平成28年8月2日(火)・3日(水)

福山ニューキャッスルホテル

男子団体 徳山高校

(大中 哲哉・山下 勝己・増田 真大)

予選リーグ2勝2敗 21位

女子団体 徳山高校

(細瀬 摩利・松山 結芽・古城 未麻)

予選リーグ3勝1敗 10位通過

決勝トーナメント 5位入賞

男子個人 中島 秀幸(慶進1)

予選リーグ2勝2敗

眞野 寛人(香川1)

予選リーグ0勝4敗

女子個人 峯重 美佳(徳山2)

予選リーグ2勝2敗

西村 英代(徳山2)

予選リーグ2勝2敗



5位入賞した女子団体(徳山高等学校)



2016ひろしま総文 対局風景

3 山口県高文連将棋専門部研修会

(第21回山口県高等学校将棋新人大会)

平成28年11月6日(日)

防府市文化福祉会館

男子個人 参加11校41(38)名

- 第1位 中島 秀幸(慶進1)
- 第2位 増田 真大(徳山2)
- 第3位 戎屋 祐汰(下関西2)
- 小林 宗生(徳山1)
- 第5位 宮崎 雅也(高川2)
- 梶山 智史(徳山1)
- 長田 周也(下関西1)
- 今村 繁希(下松2)

女子個人 参加2校8名

- 第1位 峯重 美佳(徳山2)
- 第2位 新本 真夕(徳山2)
- 第3位 西村 英代(徳山2)
- 敢闘賞 和田 直(下関西2)
- 桑田 廣幸(防府商工1)

研修会(指導対局、大盤解説)

- 指導 北村 公一 日本将棋連盟山口支部長
- 藤井 佳久 山口県名人

4 第15回中国地区高校将棋選手権大会(山口大会)

平成28年12月17日(土)・18日(日)

山口県周南市 ホテル・ザ・グラマシー

男子個人 参加32名

- 中島 秀幸(慶進1) 3勝2敗
- 梶山 智史(徳山1) 3勝2敗
- 増田 真大(徳山2) 2勝3敗
- 小林 宗生(徳山1) 2勝3敗
- 今村 繁希(下松2) 2勝3敗
- 長田 周也(下関西1) 1勝4敗
- 坂根 風大(下松1) 1勝4敗
- 宮崎 雅也(高川2) 0勝5敗

女子個人 参加16名

- 峯重 美佳(徳山2) 3勝2敗
- 高瀬 夏生(徳山1) 3勝2敗
- 新本 真夕(徳山2) 3勝2敗
- 西村 英代(徳山2) 2勝3敗



中国地区高校将棋選手権大会

5 第24回全国高文連将棋新人大会

平成28年1月29日(金)~1月30日(土)

熊本県 阿蘇の司ビラパークホテル

男子個人

- 大中 哲哉(徳山2) 予選リーグ3勝1敗
決勝トーナメント 17位
- 中村 知堯(下関西2) 予選リーグ1勝3敗

女子個人

- 片山 紀香(下松2) 予選リーグ4勝1敗
決勝トーナメント 9位
- 細瀬 摩利(徳山2) 予選リーグ4勝1敗
決勝トーナメント 17位
- 松山 結芽(徳山2) 予選リーグ3勝2敗
- 古城 未麻(徳山2) 予選リーグ2勝3敗

各部門の報告

小倉百人一首かるた部門

理事長 青 池 のぞみ
(小野田高等学校教諭)

1 部門の活動報告

小倉百人一首かるた部門が発足して4年が経ちました。様々な方々から御指導をいただき、少しずつですが組織として前進しています。

平成28年度には、山口県立小野田高等学校で県内初の「小倉百人一首かるた部」が新設され、新聞やテレビでも取り上げていただきました。小野田高校は、かるた競技の高校生選手たちを支える拠点校としての役割も担っています。

かるた競技は、「畳の上の格闘技」といわれています。静寂と美しい日本語の調べのなかで自己と向き合う高度な集中力と記憶力、相手に勝る瞬発力、そして常に冷静な判断力、長時間の対戦に耐え得る精神力が求められる厳しい競技です。また美しい振る舞いや相手を敬う人間性も必要です。山口県では、かるた協会と協力しながら選手育成をおこなっています。錬成会や合宿も実施し、各種大会でも好成績を収めています。

かるたに向き合って集中し、日々厳しい稽古に取り組んでいる生徒の顔は、とても熱く輝いています。山口県から、未来の名人・クイーンが育つことを期待しています。



5月の県総文大会の様子

2 第38回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会

滋賀県大津市の近江神宮で毎年開催される、かるたの甲子園と呼ばれる名誉ある大会です。今年は7月23日(日)団体戦、24日(月)に個人戦が開催されました。

《大会結果》

団体戦	山口県立小野田高等学校	1回戦敗退
個人戦	B級 4位 山口県立宇部高等学校	2年 梶原 大暉
	C級 4位 山口県立小野田高等学校	2年 長井 千春
	D級 4位 山口県立宇部工業高等学校	2年 山岡 楓季



選手権大会風景

3 第40回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門

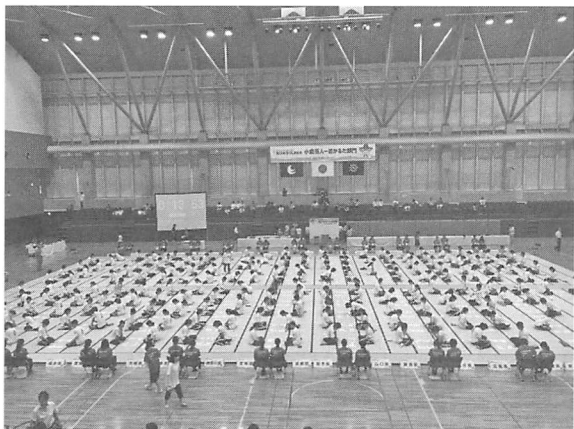
8月1日(月)～3日(水)の3日間、広島県呉市の呉市民体育館オークアリーナにおいて開催されました。山口県は4校合同8名での出場となりました。

《大会結果》

団体戦	山口県チーム	予選リーグ4位
	山口県立小野田高等学校	3年 三國 美奈
		3年 師井 美冬
		2年 長井 千春
		2年 長谷川千紗
	山口県立宇部高等学校	2年 梶原 大暉
		1年 中西 環
	山口県立宇部商業高等学校	1年 師井 彩夏
	山口県立長府高等学校	1年 西田井つばさ



2016ひろしま総文 山口県チーム



2016ひろしま総文 試合の様子

4 第19回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会
10月29日(土)～30日(日)に、岡山県倉敷市の水島武道館で開催されました。

《大会結果》

団体戦 山口県チーム 優勝

この結果、平成29年3月19日(日)～20日(月)に福島県郡山市で開催される「第12回全国高校生かるたグランプリ」に、中国地区ブロック代表として出場することが決定し

ました。この大会は、かるたの春の甲子園と呼ばれています。山口県チームが中国地区ブロック代表として、健闘することを祈っています。



中国大会 試合の様子



優勝した山口県チーム

各部門の報告

文芸部門

理事長 松 永 直 子
(光丘高等学校教諭)

1 県総文祭総合開会式慶祝展示

全国高等学校文化祭びわこ大会のパネル写真を展示しました。また、全国総文祭ひろしま大会の参加作品および県内各高校の文芸誌を展示しました。

2 「俳句甲子園」地方大会研修会

6月4日(土)

下松中央公民館

俳句甲子園地方大会に備えて研修会を実施しました。

3 第19回「俳句甲子園」地方大会(山口大会)

6月11日(土)

防府市地域交流センター

【第1会場】

優勝 徳山高等学校A

最優秀句 「大山の水を背負へる苺かな」

徳山高等学校A 2年 鎌田 彩海

【第2会場】

優勝 徳山高等学校B

最優秀句 「水温む水彩筆の傷多し」

徳山高等学校B 1年 西村 陽菜



俳句甲子園(山口大会)の様子

4 第19回俳句甲子園(全国大会)

8月20日(土)21日(日)

松山市大街道、コミュニティセンター

団体奨励賞 徳山高等学校B

優秀賞 徳山高等学校B 2年 金谷 佑策

5 全国高等学校総合文化祭

8月1日(月)～3日(水)

広島県福山市 広島県民文化センターふくやま他

○散文部門	防府高等学校	児玉 穂香
○詩部門	華陵高等学校	手島 里沙
○短歌部門	防府西高等学校	福田 光咲
○俳句部門	山口中央高等学校	板野 綾音
○文芸誌部門	徳山高等学校	中原孝太郎

以上5名出場



2016ひろしま総文 参加者



交流会の様子

6 第14回山口県高等学校文芸コンクール

作品募集 7月11日(月)～8月3日(水)

選考決定 10/13(木)

今年度の県コンクールは17校120名142作品の応募があり、今年度の中国大会、来年度の全国総合文化祭の出場者が決定しました。

受賞者一覧

部 門	成 績	学校名	題名	学 年	氏 名	備 考
散文	最優秀	宇部高等学校	水の色	1	松井 裕規	全国総文
	優秀	宇部高等学校	熱、耀き。	2	上田 藍	中国ブロック
	優秀	防府高等学校	わたしたちは大人になる	2	木村亜香里	中国ブロック
	優秀	徳山高等学校	慣用句バトル	2	芳岡 未那	中国ブロック
詩	最優秀	華陵高等学校	モーターサイクル	3	久保 友希	
	優秀	宇部高等学校	誓約文	1	松井 裕規	中国ブロック
	優秀	柳井商工高等学校	雨	1	小丸 七星	全国総文
短歌	最優秀	徳山高等学校	指笛の	3	石村 まい	
	優秀	徳山高等学校	赤ペンの	2	芳岡 未那	全国総文
	優秀	柳井商工高等学校	字となつて	1	水野 晴菜	中国ブロック
俳句	最優秀	徳山高等学校	海霧の	2	鎌田 彩海	全国総文
	優秀	熊毛南高等学校	マドンナも	1	川野愛里紗	中国ブロック
	優秀	徳山高等学校	噴水の	2	中原孝太郎	中国ブロック
	優秀	徳山高等学校	試験管	2	仲保 麻子	中国ブロック

※最優秀学校賞 徳山高等学校 部誌部門 全国総文

7 第17回高校生文芸道場中国ブロック大会派遣および参加

11月12日(土)

おかやま西川原プラザ

宇部高校2名、防府高校1名、徳山高校8名、熊毛南高校2名、光丘高校2名 以上15名参加

《第17回高校生文芸道場中国ブロック大会文芸コンクール結果》

○詩部門

最優秀「いちめんの海」 徳山高校 3年 石村 まい

○短歌部門

最優秀「ベランダに」 徳山高校 3年 石村 まい

○短歌部門

優 秀「卵黄と」 徳山高校 2年 鎌田 彩海

○俳句部門

最優秀「權滯れて」 徳山高校 2年 石村 まい

○文芸部誌部門

最優秀「青柳」 徳山高校



中国ブロック大会 参加者

8 第31回全国高等学校文芸コンクール結果

○小説部門

優良賞「わたしたちは大人になる」

防府高校 2年 木村亜香里

○文芸評論部門

入選 「芥川龍之介の人間観」

徳山高校 3年 石村 まい

○詩部門

入選 「いちめんの海」 徳山高校 3年 石村 まい

○俳句部門

優良賞「夕立の」 徳山高校 2年 仲保 麻子

入選 「炎天や」 徳山高校 2年 中原孝太郎

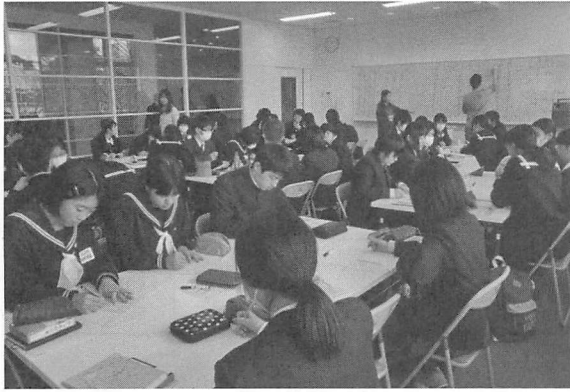


表彰式の様子

9 文芸専門部研修会 俳句研修

12月23日(金)

下関生涯学習プラザ



研修会の様子

10 文芸専門部研修会(中国大会プレ研修会)

平成29年3月26日(日)

山口県立徳山高等学校

11 全国高等学校総合文化祭ひろしま総文 文芸部門 参加報告(「部門別交流会」抜粋)

山口県立防府高等学校 3年 児玉 穂香
(散文部門)

自己紹介が終わった後、講師として来てくださった光原百合先生のお話を伺いました。今回の交流会のテーマが「土地に根差した物語を書くこと」であったので、そのような作品としてはどのようなものが挙げられるのか、また、そのような作品が生まれるきっかけにはどんなものがあるのか、といったお話をさせて頂きました。最近話題の「ポケモンGO」も、そのきっかけの一つとなり得るという話は、大変興味深かったです。また、その後の質疑応答では、創作に関する様々な疑問に答えて頂きました。プロットはどれくらい綿密に立てれば良いのか、タイトルの付け方、スランプの脱出法など、今後の創作の役に立つ情報を、たくさん得ることができました。

山口県立華陵高等学校 3年 手島 里沙
(詩部門)

詩人 松尾静明先生の「ポエトリーからポエムへ」という講演を聞き、改めて詩の奥深さを感じることができた。純粋で美しく力強い「ポエトリー」が無ければ「ポエム(詩)」を創作することはできない。また「詩人になる前に素晴らしい人間になりなさい。」と、先生からアドバイスをいただいた。私たち人間が使う言葉は、その人の今までの経験によってつむぎ出されてゆく。幅広い人生経験を積み、いろいろな感情を味わうことにより、自分が用いる語彙が豊富になり、人を感動させる詩を創作することができる。講

演の中では、さまざまな詩を例に出して、詩の技法を学ぶこともできた。

山口県立防府西高等学校 3年 福田 光咲
(短歌部門)

最初に講師で歌人の小島なお先生の講演を聞きました。先生の講演の中で印象に残った話は、「短歌は自身のもとから離れた時点で自分のものではなくなる。自分の歌を詠んだ他者の解釈が、たとえ自分が考えたことと違っていても、文句はいえない。それは、他者が正しく解釈できない短歌を作った自分の責任だ。逆に、人によって解釈が違ってくるのが短歌の面白いところでもあるのだ」という話です。

歌合せでは、全国のレベルを目の当たりにしました。もっと、語彙力を増やして、さまざまな歌を鑑賞していき、自分の感受性を豊かにする必要があるなと思いました。

山口県立山口中央高等学校 3年 板野 綾音
(俳句部門)

俳句部門では神野紗希先生をお迎えし、句会が行われました。まず、十七音の世界だからこそ、普遍的なことを陳腐にせず詠むことのおもしろさと難しさ。それを実感したのが、寄物陳思という言葉でした。俳句では、嬉しい、悲しいなどといった直接的な感情表現をしないかわりに、それをモノに託すのだそうです。また、リアリティを大事にする俳句に建前は必要ないと言われていました。しかし、意外性と共感を忘れてはいけないのだとも教えて頂きました。

つわものや福山の城にこけの花

山口県立徳山高等学校 2年 中原孝太郎
(文芸部誌部門)

文芸部誌部門の分科会は、各高校の部誌を見ながら、有意義な意見交換を行うことができた。

まず、広島大学の川口隆行教授より、高校文芸誌の意義についてお話があった。文芸誌というのは、作品を多くの人に伝える上で必要となる器のような存在である。部誌の作り方次第で良作の魅力を生かしきれなかったり、あるいは良作とは言い難い作品でも編集によって輝きを増し始めることもある。部誌の大きさや厚さ、作品の掲載量・順番、目次の付け方、企画の内容、分量……。作品が揃った後でも考えるべきことは多くある。そんな話を聞いて部誌の重要性について改めて気づかされた。

各部門の報告

自然科学部門

理事長 大 田 和 子

(宇部高等学校教諭)

平成23年全国総合文化祭福島大会に理事長として、総会に参加し、全国の仲間入りをしてから早いもので、6年になりました。それから県内の数少ない科学部の活動を頼みに、中国地区で行われる広島大会を目標に、細々と活動してきました。

そして、今年度の広島大会では4つの部門に参加することができ、この活動が続いていることをうれしく思います。

今年度の全国総合文化祭への参加は以下の通りです。

<ポスター発表>

「ナミウズムシ個体群の季節変動と水環境」

山口県立山口高等学校 化学・生物部

<化学部門>

「ため池の水質調査」

山口県立宇部高等学校 科学部

<生物部門>

「山口県のオオサンショウウオの生態(4)

～生態地と繁殖地の「棲み分け移動」を発見」

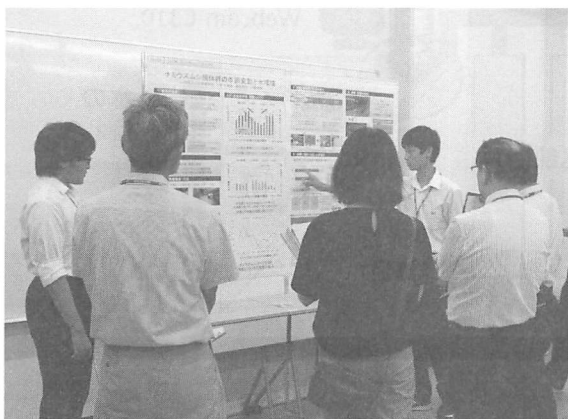
高川学園高等学校 科学部

<地学部門>

「砂防ダムのプラス面とマイナス面(2)

～マサ土を主成分とする土石流に有効な砂防ダムの構造～」

高川学園高等学校 科学部



ポスター発表で説明をする山口高等学校 化学・生物部

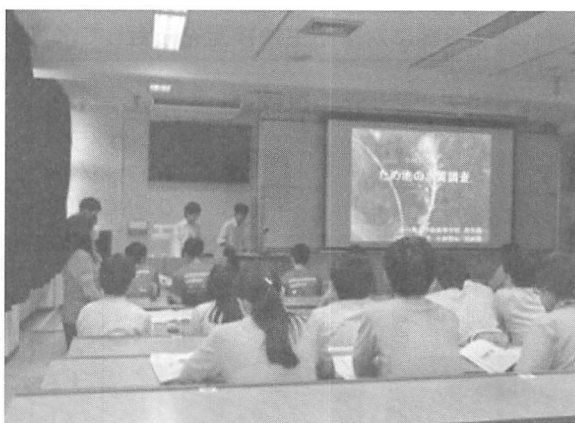
4回目の参加の高川学園をはじめ、宇部高校、山口高校は他の大会経験もあり、とても落ち着いて他県に引け

を取らない立派な発表をされました。残念ながら受賞はできませんでしたが、今後の活動に大いに期待が持てます。

また、広島の高校生たちがとても生き生きと運営され、充実感あふれる素晴らしい大会となりました。また、閉会行事終了後、参加者たちが会場を後にしたときに、たくさんの実行委員の生徒さんが通路にならび見送ってくれた姿はとても印象的でした。



2016ひろしま総文 参加者



宇部高等学校 科学部

来年度の全総文祭には、萩高校、柳井高校、徳山高校が初参加し、高川学園と共に発表されます。どのような成果が見られるかとても楽しみです。

また、今年度は「日本ストックホルム青少年水大賞」で山口県立山口高等学校化学・生物部が大賞を受賞され、8月末にスウェーデンストックホルムで開催されたSJWP(世界29か国参加)で研究発表するという、うれしいニ

ユースもありました。山口県は自然科学部の活動はあまり盛んではありませんが、地道に活動してきた成果が少しずつ見え始めてきたように思います。次のページにその活動報告を乗せております。

また、今年度は山口県内の自然科学部の調査を行っており、来年度は活動している生徒と先生方の意見交換ができればと考えております。

SJWP への参加

「代替生物を用いた安価で斬新なリアルタイムバイオモニタリングシステムの開発」

山口県立山口高等学校 化学・生物部

(3年) 濱田 尚輝 松本 久也 原田 要

オオカナダモの細胞質流動のモニタリングを中核とし、コンピュータで監視することで労力やランニングコストを低減できる水質監視装置を開発することを目的とした研究に取り組みました。開発に関しては課題も多かったのですが、世界中の人々に安全な飲用水を提供したいという思いで、研究を推進しました。試行錯誤の結果、図1に示した装置を完成させることができました。また、成果をレポートにまとめ、「日本ストックホルム青少年水大賞」へ応募したところ、大賞に選出されました。受賞は嬉しかったのですが、国際大会に向けて、装置の改良と実験の繰り返

しに多くの時間を費やすことになり、時間のやり繰りには苦勞しました。



SJWPにおける英語での発表

2016年8月末にスウェーデンストックホルムにて開催されたSJWPでは、世界29カ国の代表が集い、研究成果を競いました。英語での発表でしたが、審査員に正しく伝えることができたようで、研究内容について大変興味を示されました。この経験で、研究のみならず、プレゼンテーションにも自信を持つことが出来ました。残念ながら入賞には至りませんでしたが、審査員から、とても高く評価していただいたようです。

貴重な機会を与えて下さった皆様に、心から感謝しています。ありがとうございました。

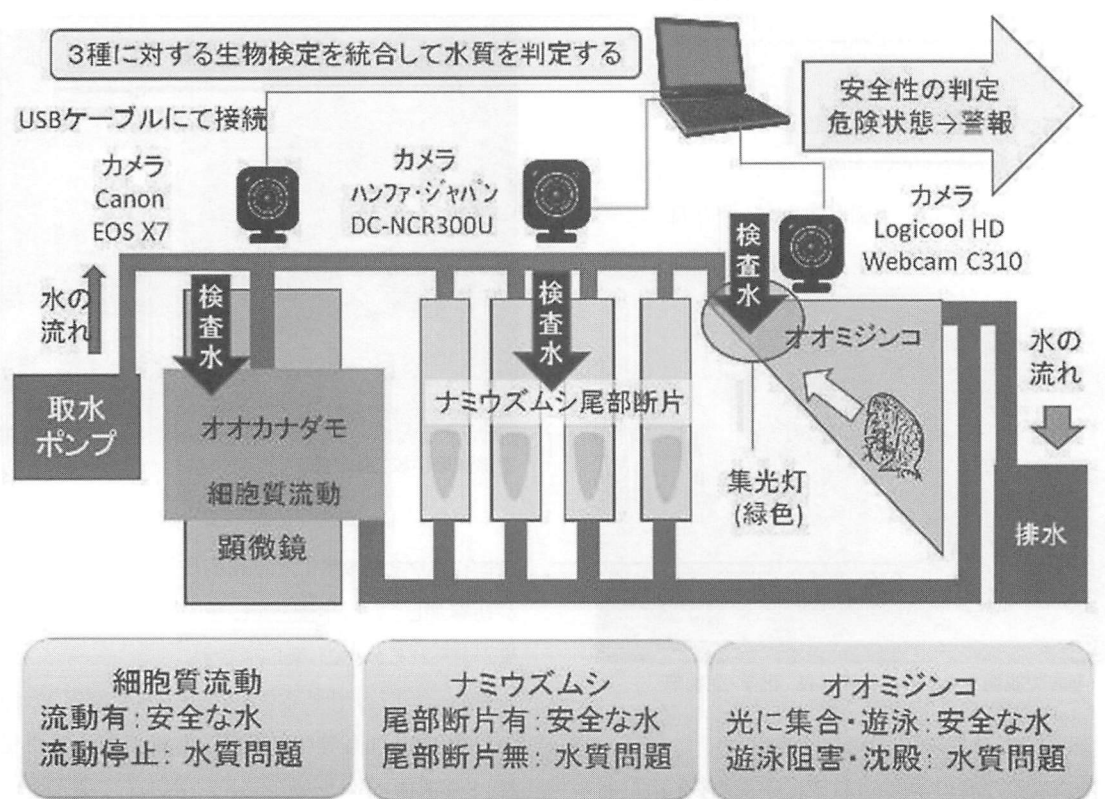


図1 開発した水質監視装置

全国高等学校総合文化祭に参加して

山口県立岩国商業高等学校

藤井 彩 都

夏休み。それは突然のことで、先生から「全国高等学校総合文化祭の総合開会式に参加しないか」というお話をいただきました。しかし、私は実際それがどのような行事なのか全く分かっていませんでした。私はその日、家に帰って全国高等学校総合文化祭の開会式について調べました。

その内容は、広島県で行われる総合文化祭の開会式に全国からの代表者が集まって、それぞれの都道府県の魅力を川柳のような感じで披露することでした。その時、想像したのは、ミュージカルのような大舞台に立って、大観衆の前で発表している私の姿でした。しかし、不思議なことに、不安や緊張はさほどなく楽しみな気持ちが勝り、参加することを決意しました。

今回、開催地であった広島県は、私自身とても身近な場所で、休日にはよく通っていました。広島県といえば、国際平和文化都市であり、世界文化遺産が2つある場所です。1つは、海に浮かぶ神社として有名な厳島神社。もう1つは、世界的にも負の遺産として有名な原爆ドームです。約100年の時を経て、現在の国際平和文化都市へと復興を遂げた広島県は、歴史ある魅力的な県です。

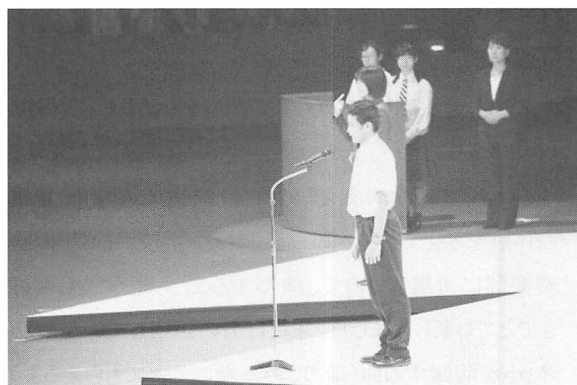
開会式当日、私は校長先生と電車で岩国駅から広島駅へと向かいました。広島県の魅力の1つでもある路面電車に乗って、広島市内の街並みを見ながら会場へと向かいました。会場である広島総合体育館に近づくにつれ、私も少しずつ緊張してきました。しかし、会場に到着すると、広島総文を支える数多くの広島県の高校生たちが、明るい笑顔と元気な声で迎えてくれました。そのエネルギーはものすごく、活気で満ち溢れていました。会場には、他の都道府県からそれぞれの代表生徒が来ていました。各都道府県の制服など、とても特徴的で新鮮でした。

リハーサルも終わり、いよいよいよいよ本番が始まりました。いざ本番になると、徐々に不安な気持ちや緊張が押し寄せてきましたが、山口県の代表として恥じないようにやろうと気持ちを引き締め、ステージに出る順番を待ちました。そして、ついに「山口県」のアナウンスが流れました。ステージに立つと、自分だけにスポットライトが当てられました。その瞬間、広い会場を埋め尽くすたくさんの関係者のみなさんや高校生を前に、私は堂々と発表してい

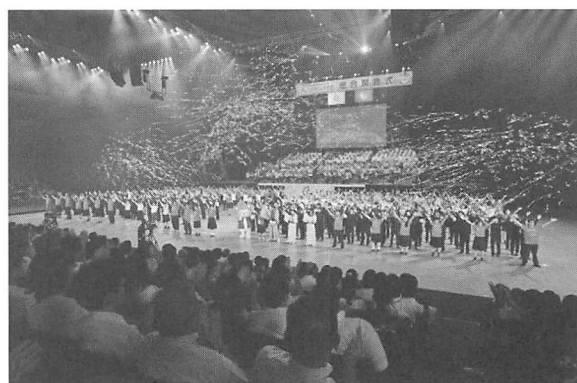
ました。大役を終えた私は、あらためてその場面を振り返ってみて、最高のステージに立てた喜び、そして私も広島総文を作り上げている一員なのだという誇りを感じました。出番を終えた私と他の代表者たちは、観客席に移動し、広島県内の高校生たちが繰り広げる様々なパフォーマンスを鑑賞しました。広島県の伝統文化である神楽や、海外の高校生がその国の伝統芸能を披露したりなど、とても楽しかったです。その中でも、平和の尊さを、被爆したピアノの伴奏に合わせて朗読するパフォーマンスにはすごく感銘を受けました。

私はこの全国高等学校総合文化祭へ参加して、大勢の人の前で話すことを経験できました。また、みんなと協力してひとつのことを作り上げていくことの大切さをあらためて学ぶことができました。私自身が知らなかった広島の文化や魅力をたくさん学べるよい機会となりました。

この貴重な体験は、私にとって大切な財産となりました。こんな素晴らしい機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。



山口県代表としてステージに立つ藤井彩都くん



2016ひろしま総文総合開会式の様子

自主事業・補助事業の報告

《自主事業》【山口県交響楽団演奏会】

宇部西高等学校

○体育館に入らず、山口県交響楽団の方々が練習されている様子を見て、興奮しました。一曲目から、生の楽器の演奏にすごく感動して涙が溢れてきました。こんなに近くで生演奏を聴けるのは人生でありたいと思いました。二曲目は曲の世界に入り、何百年前の世界が頭の中に浮かんできました。曲の説明をしてくださる方の話は、現実的ではない世界に連れて行ってくださるのでわくわくしました。知っている曲も生で聴くと、こんなにもすごいんだと思いました。皆さんは楽しそうに熱心に演奏されていて、音楽に対する愛や情熱が伝わってきて、とても最高の演奏でした。

○今回の演奏会では、演奏者一人一人の音楽に対する気持ちがすごく伝わってきました。演奏しているときの優しい表情や、曲に同調して自然と体が揺れていく姿を見て、音楽が好きという気持ちがすごく伝わってきました。また、音に演奏する人の性格が出ていて、一つ

一つが違うところに音楽の魅力を感じました。ほとんどが知った曲で、床を伝わって響いてくる振動に、すごく興奮しました。中でも、コントラバスの心が震えるような音色に惹かれました。最後に、コントラバスの演奏者の方とお話をする事ができ、実際に弾かれていたコントラバスを触らせていただいたときは、手の震えが止まりませんでした。今回はとてもいい経験になりました。



宇部西高等学校での演奏会の様子

《自主事業》【山口県交響楽団演奏会】

豊北高等学校

○私のいる豊北高校には吹奏楽部はありますが、管弦楽部ではありません。そのため、高校の体育館ではありませんが、あのような演奏を聴く機会はなかなかなく、貴重な体験をさせてもらいました。私は中学校から6年間吹奏楽部に所属していて、演奏することも聴くことも大好きでとても楽しめました。また自分の担当していたクラリネットが活躍する曲もあり、みんなに知ってもらえるようで嬉しく思い、その音色に感動しました。今回の演奏会は高校生だけでなく、保育園生や小学生、保護者や地域の方々も来場していましたが、体育館全体が一体感のある演奏会となりました。特に、小さな子どもが指揮の真似をしたり、ロズさんで歌っていたり、手拍子をしたりと温かな雰囲気なる場面もありました。今回は本当に良い経験になりました。

○私は今回の演奏を聴いて、大勢の人が心を一つにして曲を奏でる楽しさを改めて感じました。オーケストラの方々の演奏を、こんなに身近で聴くことができるとは

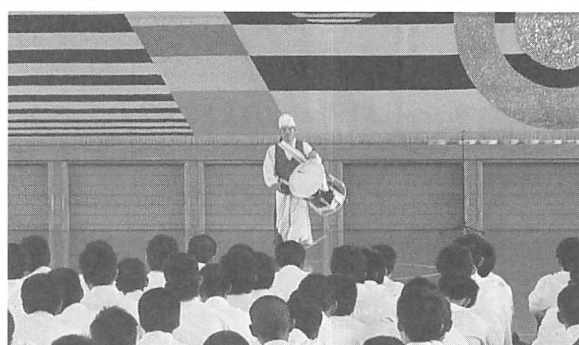
思いませんでした。弦楽器のあたたかみのある音色、金管楽器の華やかな音色、木管楽器の深い音色、打楽器の軽快な音色が合わさり、その迫力に感動しました。会場全体が温かな空気に包まれたような雰囲気になり、曲を聴きながら自然と笑みがこぼれるほど幸せな気持ちになりました。今回は、本当にありがとうございました。



豊北高等学校での演奏会の観客風景

○私は、韓国の文化について全く知りませんでした。服装や楽器、ダンスなどについて初めて知りました。下関という平家踊りのようなものにも感じました。今日のように他国の文化と触れ合うことで、相手の国を知り、自分たちの国を知ってもらえると思うので、本当に良い機会だと思いました。人と人の繋がりはこれから自分にとっても、これからの日本にとっても必要な事だと思うので、このような行事に感謝していきたいです。

○韓国独特の伝統的な服をまとい、とても華やかな踊りから太鼓などの楽器本来の音を生かしたチャンコ踊りなど、とても印象的で見ているととてもその独特の世界に釘付けでした。また、最初はハングル語でお話するときは理解でき、言葉以外にも思いを伝えられるということも学びました。そして、見るだけではなくて実際に何人か体験でき、より深く韓国の文化に触れ合っていたのもすごい良かったです。



となりの国の太鼓と踊り

○今日、リコーダーとリュートの演奏が聴けて良かったです。色々な国に旅に出た気分でもっと楽しく聴けました。私たちの知っている曲がリコーダーやリュートで演奏されていてすごかったです。たくさんの楽器が見られたのも勉強になりました。私は小学校の時、授業でリコーダーを吹いていましたが、ブラスバンドでフルートを吹いてみたかったので、機会があればフルートも吹いてみたいと感じました。リコーダーも他の楽器もすごく肺活量が必要だなと思いました。今日は私たちのためにステキな演奏をしてくださってありがとうございました。私にとってすごく良い機会でした。

○今日は、いろいろな時代、国の演奏を聴きました。リュートの音や、リコーダーにはすごく長いものや短いものがあってびっくりしました。リコーダーは、演奏をされているときに手元を見ずに吹いていたり、指の動きが速いので驚きました。私もリコーダーを吹くときは、手元を見ずにできたらいいなと思いました。リュートは初めて見る形、楽器でした。今日聴いた楽器の中で、優しい音で一番いいなと感じたので、一度弾いてみたいと思いました。今日は大変良い機会でした。

○今回の『リコーダーとともに』では、あまり耳にしないものもあり、良い体験をさせていただきました。様々な音色には違いがあり、一つひとつの音の良さを感じました。また、音色が心地よく耳に響きました。リュートが奏でる音色は静かに響き、リコーダーの音色をより引き立てていました。様々な曲の演奏は見ものでした。特に、最後のジブリメドレーがすごかったです。音楽は僕にとって馴染み深いものなので、今回は凄く貴重な経験でした。本当に素晴らしい演奏会でした。この経験は、いい思い出になりました。



リコーダーとともに

○今回は、わざわざ私たちのために劇をしてくださりありがとうございました。私は中学校のころ、東京から劇団の方が来られて、その劇を見たことがあるのですが、そっちの方もものすごく感動したのですが、今回の劇のほうがすごく感動しました。先生や演劇部、宇部の劇団の方が一緒に演出されることもめったにないことだと思います。演劇部の人たちや先生がとてもうやまいしと思いました。私の中で一番心に残っていることは、目の見えない女の子がはじめは鬼を嫌っていたのに、最後には夫婦になっていて、鬼が女の子のために1本しか咲いていない花を探して帰ってきたときに撃たれて、でも、頑張って1滴たらしめてあげる鬼の姿に感動しました。本当にありがとうございました。この話を知らなかったの、今回この話を知れてうれしかったです。この劇をまた見たいと思いました。

○人間と鬼との間の絆に感動しました。人のために自分の命までもかけることができるそんな鬼の姿がとても印象に残っています。私も人のために一生懸命になれるようになりたいと思いました。また、音響や照明で場面

の表現をしているのに感動しました。役者の動きと合っていて本当にすごいなと思いました。鬼は亡くなってしまいましたが、そのことを忘れず子供に託すというシーンのも心を打たれました。とても衝撃的な最後だったからです。ハッピーエンドではありませんでしたが「生きること」の素晴らしさが分かりました。見ていて飽きず、常に楽しかったです。一人一人の表情もとても豊かで、私までその人になった気分になれました。声もすごく通っていて、キレイで素敵でした。今日の演劇で学んだことを今後に生かして生きたいです。



宇部芸術座

○最初のBGMが始まったときに、雰囲気が出ているなと思いき興味がわいてきました。座敷わらし役の方は歌声がきれいで、聞き心地がよかったです。家族役の一人ひとりもすごく感情が入っていて、さらに、すらすらとしゃべっていてすごいなと思いました。しゃべっていない時でも、その場に応じた反応や表情をしており、演じているというより、本当の会話みたいだと感じました。

○今日の公演を鑑賞して、人数が少ないのにすごいと思いました。一人ひとりの個性があふれていて、とてもおもしろかったです。私が所属している部活動は少人数ですが、今日の公演を見て、少人数でもお客さんに何かを伝えることができると感じました。また、同い年の高校生が活躍している姿を見て、勉強や部活に、もっと頑張りたいと思いました。

○私は、演劇をこんなに近くで見たことがなかったので、今回このような経験ができて本当にうれしかったです。

短い時間でしたが、家族一人ひとりの気持ちがどんどん変化していった、すごくおもしろかったです。また、役者の方だけではなく、音楽や照明など、裏方の支えがあってこそ演劇ができあがるのだと思いました。今まで演劇に興味はありませんでしたが、今日をきっかけに好きになることができました。楽しい時間をありがとうございました。



劇団のんた

○普段、何気なく暮らしている下関で、戦時中、空襲による悲惨な悲劇があったことをはじめて知りました。私達が今、下関で平穏に暮らしているのは、戦後、下関をここまで立て直してくれた人達のおかげだと思います。今まで、下関について知ろうと思ったことはありませんでしたが、この度、海峡座の皆さんの公演を観て、戦時中の下関について興味を持ち、自分でも調べてみようと思います。今回は、演劇を観ることができてとても良かったと思います。また機会があれば海峡座の皆さんの公演を観に行きたいと思います。



劇団海峡座

○今日は、興味を持っていたジャズの演奏を生で聴くことができ、そして、一緒に演奏することもできて今までにないとても良い経験になりました。吹奏楽部での合同演奏では、私はレイモンドさんの隣でアルト・サックスを吹きました。テナー・サックスで超高音を大音量で出していたので本当に驚きでした。ほかにも音色や吹き方などを色々知ることができ、とても参考になりました。私は曲のなかでアドリブソロがありましたが、アドリブの吹き方がよくわからないので楽譜に書いてあるものをそのまま吹きました。演奏後レイモンドさんが、自分も最初はアドリブが苦手だったけど、いろいろ聴いてたくさん経験するうちに好きになっていったとおっしゃいました。私もいろいろ聴いて、ソロがあればどんどんチャレンジして上手くできるようになりたいと思いました。少しの時間しか一緒に演奏できませんでしたが、とても楽しい時間が過ごせました。もし機会があれば、ぜひまた一緒に演奏したいです。今日のコンサートで多くのことを学ぶことができたので、これから吹奏楽部の演奏で生かして行きたいです。また、ジャズにより一層興味を持つことができたので、これを機にジャズの曲をたくさん聴いてみようと思います。

○ジャズの演奏を聴くのは今日が初めてで、どんな音楽なのかと思っていました。聴いてみると、一つ一つの楽器の音がとてもきれいでリズムも良く、とても楽しい音楽なんだということが分かりました。ジャズというものを生で聴くことができて本当に良かったです。ソロがあるところでは、難しそうなのところもとても楽しそうに演奏してい

る感じが伝わってきて、見ている方も楽しくなりました。プロの演奏は本当にすごいなと思いました。吹奏楽部とのコラボの「ルパン3世」の演奏はとても迫力があり、すごく心に響き感動しました。今回のコンサートで、ジャズについて知ることができて良かったです。ジャズ音楽について、ほかにもいろいろ聴いたり調べたりしてもっと知りたいと思いました。



演奏風景



生徒達とセッションする様子

○今日のコンサートは私の中でとても貴重な思い出になりました。プロの方の歌声を目の前で聞けて、歌声はもちろん、歌い方や表現にも引きつけられました。「帰れソレントへ」や「オーソレミオ」は聴いたことがあったので生で聞けてすごうれしかったし、歩きながら私の間近で歌ってくださって本当に感動しました。「トゥーランドット」は吹奏楽の演奏で聴いたことがあって吹奏楽のイメージが強かったのですが、歌声とピアノだけでもその迫力は変わらず音楽の原点を感じました。「かんぴょう」や「あんこまパン」は、歌声の迫力と歌詞のギャップに思わず笑ってしまいました。「あんこまパン」食べてみたかったけれど勇気が出なかったの、家で作ってみようと思います。約1時間と少しの時間でしたが、感動したり笑ったりと、とても楽しいコンサートでした。聴いて、見て、音楽的に勉強になるところは一生懸命吸収したいと思うので吹奏楽部での活動にもこれから生かしていきたいと思います。

○今日のコンサートでは、プロの歌手の方の歌声を聞くことができ、とてもうれしかったです。生で聴くプロの方の歌声やピアノの音色は、すごく綺麗で、とても感動しました。普段耳にしたことのある曲も、なかなか聴く機会がないようなおもしろい曲も聴くことができ、音楽への興味や関心がさらに高まったと思います。中でも「トゥーランドット」の「誰も寝てはならぬ」が特に印象に残りました。以前、ピアノの発表会で弾いた曲で、思い入れのある曲だったので、プロの方の演奏を聴くことがで

き、とてもうれしかったです。藤田さんの芯のある歌声と、岩佐さんの綺麗なピアノの音が重なって、本当に素敵な演奏でした。生でこんなにも素敵な音楽を肌で感じることができ、とても良い経験になりました。本当に素敵な時間を過ごすことができました。



熊毛南高等学校にて

○私は特に声楽に興味があるという訳でもなく、詳しいことが分かる訳でもないの、後ろのピアノ伴奏の方にも注目しておこうかな…と、正直なところそのくらいの気持ちでいました。でも、藤田さんの歌声を聞いた瞬間、とても心に強く響くものがあり、感動して目が釘付けになりました。「星とたんぽぽ」という詩はとても有名で私も知っていたのですが、それにメロディがつき、また藤田さんの力強かつ感情的な歌声にのせられて聞くと、こんなにも詩の感じ方が違うのかととても驚かされました。心に染みわたりました。そのような歌声もあるのかと思えば、「かんぴょう」や「あんこまパン」のようなユニー

クな歌詞になると藤田さんは表情や体の動きからもとても楽しそうな感じが伝わってきて、また全然違う人のような歌声に感じられました。それがとてもおもしろくて不思議でした。表情や体でも音楽を表現できるのは人間の体を楽器として使う声楽だけだと感じたので他の楽器ではできない素晴らしさだと思いました。後半のイタリア語の歌詞の歌はもちろん歌詞の意味は私には分からなかったのですが、それでも何か訴える根本的な部分のところは伝わってきたような気さえしました。音楽、特に声楽の持つ力の大きさを知ることができた、私にとって忘れられないコンサートになりました。

○今回学校行事としてこのような貴重な経験を得ることができて、とても嬉しく思っています。歌はもちろん、合間での藤田さん自身のお話や曲・作曲家についてのお話はとても興味深いものばかりでした。プログラムにはイタリアの曲に加え、日本語歌詞の曲も多くあったので、詩の内容を理解しながら聴くことができ、とても感動しました。また「かんぴょう」や「あんこまパン」など面白いリズム・歌詞の曲もあって、初めはびっくりしたけど楽しかったです。後半からのイタリア語での歌は日本語の曲に比べて迫力が増し、日本語の曲のときの声質と大きく変わっていて、曲の世界観を藤田さんの歌声から感じ取ることができました。特に「オ・ソーレ・ミーオ」は1学期に音楽の時間で私たちが歌ったときには感じられなかった曲の魅力が、藤田さんが歌うことによって魅力たっぷりの曲へと変わっていたことが印象的でした。今回の鑑賞会を通して、改めて歌声が持つ力や音楽が人と人をつなぐ、そんな力を感じることができました。



下関市生涯学習プラザ 海のホールにて

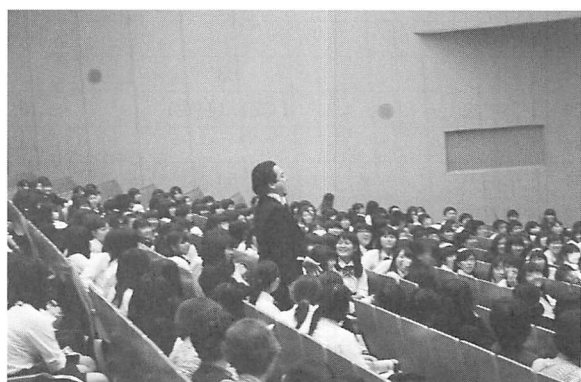
《補助事業》【藤田卓也テノールコンサート】

光丘高等学校

○テノールコンサートは初めてだったので、夏休み前からすごく楽しみにしていました。コンサートが始まり、授業で習った「カーロ・ミーオ・ベーン」の歌い出しから、藤田卓也さんの素晴らしい歌声に鳥肌が立ちました。心に残るお話と共に、感動する歌から「かんぴょう」や「あんこまパン」のような楽しい歌まで、聴いていてすごく楽しかったです。「オ・ソーレ・ミーオ」も授業で習い、初めての外国語の歌詞で覚えるのが大変だったこともあり、とても自分の中で心に残っている歌だったので、パンフレットを見た時から聴けることをすごく楽しみにしていました。一番を聴き終わって感動した後に、客席に降りて歌われ、間近で聴くことができ、ものすごい声量と美しい歌声にさらに感動しました。機会があれば、今度は自分でコンサートに聴きに行きたいと思います。

○本当に聴いていて、安心するような安らぐ歌声でした。「カーロ・ミーオ・ベーン」や「初恋」は、どちらも音楽の授業で習った歌だったので、聴いていてすごく楽しかったです。『あそこはああやって歌うんだな』と思い、表現力の豊かさに本当に感動しました。カンツォーネも音楽の授業で習ったのでわくわくしながら聴くと、伴奏とピッタリと合ってすごく自然で歌詞が耳にずっと入って

きて、本当に素晴らしかったです。歌う前に教えてくださった豆知識もすごく勉強になりました。コンサートがこんなに笑えて楽しいものだとは知りませんでした。



光市民ホールに

山口県高等学校文化連盟自主事業等実施校一覧 (No.1)

数字は実施年度(62～63は昭和、1～28は平成)、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校

番号		自 主 事 業					補助事業
		青少年劇場小公演	山口県交響楽団	巡回演劇教室			
				劇団のんた	宇部芸術座	下関海峡座	
1	周防大島 安下庄校舎	63, 7, 25	4, 10	10, 21, 28			26, 27
	久賀校舎	63	3				
2	岩国	1					
	坂上分校	63, 11	5, 26	3			
	広瀬分校	63, 14, 21	17	20, 26			
3	岩国総合	1	11				
4	高森		2				
5	岩国商業	3		62, 15			
	定時制東分校						
6	岩国工業		2	6, 8			
7	柳井		7	11, ※29			19
8	柳井商工		11, 14	1, 4, 11, 14, 27			
9	熊毛南	63, 19(分), 27	6, 17	12, 24			20, 26, 28
10	田布施農工	15(分), 18(分)	3, 18, 20, 27	5, 24	16		22
11	光	63, 20(定)	8, 23	17			21, ※29
12	光丘		8, 11		14		28
13	下松	63, 7, 12	15				
14	華陵	63	8	1			
15	下松工業		1				
16	熊毛北		2, 14	63, 7			
17	徳山	4(定), 8(定), 10(定)	15		12		20
	徳山北分校	63, 21	4, 11	8			
	鹿野分校	3, 10	9	1, 16			
18	新南陽	63	22	25	5	14	19
19	徳山商工	63, 1, 5		3, 4	7		
20	南陽工業	1	62				
21	防府						23
	佐波分校	63, 7	27				
22	防府西	1	10				
23	防府商工	63(定), 1	12			6	
24	山口	62(定), 15(定), 16(定)	2				27
	徳佐分校	63(分), 25, 27	63, 10, 20	13			
25	山口中央	63, 10, 12, 13					22
26	西京	62	4		7		
27	山口農業		5, 21		3	24	※29
28	宇部	63					
29	宇部中央	1(定), 14(定)	10, 19		63, 26		23
30	宇部西		14, 28		10, 23		26, 27
31	宇部商業	63	62, 6		3		
32	宇部工業	2, 13	8				
33	小野田	63(定), 19(定)			22, 27(定)	25	
34	厚狭	1	15, 21			9, 18	28
35	小野田工業	63(定)				4	
36	美祢青嶺	4, 22	63		17, 20, ※29	10	
37	田部		1, 13		18	20	
38	西市		63	22		27	23

山口県高等学校文化連盟自主事業等実施校一覧 (No.2)

数字は実施年度(62～63は昭和、1～28は平成)、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校

番号		自 主 事 業					補助事業
		青少年劇場小公演	山口県交響楽団	巡回演劇教室			
				劇団のんた	宇部芸術座	下関海峡座	
39	豊浦						
40	長府	1					26
41	下関西						19, 28, ※29(定)
42	下関南	22					
43	響	5	1				
44	豊北	62	3, 28			15, 22, ※29	
45	下関中央工業		12, ※29			6	
46	下関工業・下関工科	62, 28	25			2	19, 20, 22
47	大津緑洋 大津校舎	63	12		5		
	日置校舎	63, 5, 9, 15	19		25	2, 13, 23	22
	水産校舎		12				
48	萩	63	3			6	24
49	萩商工	63	6, 7, 16	23	9	2, 4, 12, 17	
50	奈古	11, 17(分)	1, 9, 24			26	
51	下関中等教育				5		
52	岩国総合支援	3, 13, 16	24	10, 19			
53	田布施総合支援	6, 17	62				
54	周南総合支援	15, 17, 20					
55	徳山総合支援	1, 11					
56	防府総合支援	62, 63, 3, 12, 26, 28	16				
57	山口南総合支援						
58	山口総合支援	19	14				
59	宇部総合支援	63, 5, 14	1, 9	18			
60	下関南総合支援	63, 3, 8, 10, 16	7, 25			1	
61	下関総合支援	2, 6	16				
62	豊浦総合支援	11, 13, 16, 23, ※29	26			19, 21	20, 27
63	萩総合支援	6, 24					
64	下関商業	14(定)					
65	高水			62			
66	柳井学園	6		63			
67	聖光		2				
68	山口県桜ヶ丘						
69	誠英				7	9	
70	高川学園						
71	中村女子	63	2, 5, 22		11	16	
72	野田学園	63	18				
73	山口県鴻城		10, ※29		12, 15		
74	宇部鴻城		7		9		
75	慶進	※29	23				21
76	成進						
77	宇部フロンティア香川		1, 5, 15		11, 19, 28		
78	サビエル						
79	下関国際						
80	梅光学院						
81	早鞆						
82	下関短期大学付属	62, 63, 4, 7, 24, 26			8	28	
83	長門		6				
84	萩光塩学院						

平成28年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告

月	日	事業	会場
4	11	会計監査	山口中央高校
	21	第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校
5	13	高文連評議会 平成27年度集録「高文連」発行	山口市：セントコア山口
	24	公益社団法人全国高等学校文化連盟定時総会	東京：アイビーホール
	28	県高校総合文化祭(小倉百人一首かるた)	小野田高校
	28～29	県高校総合文化祭「将棋部門」(主管：徳山高校)	防府市文化福祉会館
6	8	自主事業 青少年劇場小公演「リコーダーとともに」	防府総合支援学校
	16	第38回県高校総合文化祭総合開会式(主管：山口中央高校)	山口市民会館
	17～18	県高校総合文化祭音楽4部門発表会(主管：防府商工高校・山防支部)	山口市民会館
	18	県高校総合文化祭「日本音楽部門」(主管：宇部鴻城高校)	宇部市文化会館
7	1	第27回中国地区高文連関係者合同会議	岡山県岡山市：岡山プラザホテル
	22～24	全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会	滋賀県 大津市 近江神宮
	30～3	(公社)全国高等学校文化連盟各専門部会	広島県
	30～3	第40回全国高等学校総合文化祭	広島県
	31	(公社)全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	広島県：広島市
8	27～28	第27回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京：国立劇場大劇場
9	8	自主事業 青少年劇場小公演「となりの国の太鼓と踊り」	下関工業高校
	14	補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	厚狭高校
	26	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	豊北高校
	26	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	宇部西高校
10	14	県高校総合文化祭「文芸部門」(主管：光丘高校)	光丘高校
	18	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	下関西高校(下関市生涯学習プラザ 海のホール)
	20	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	光丘高校(光市民ホール)
	22～23	県高校総合文化祭「書道部門」(主管：岩国総合高校)	シンフォニア岩国
	23	県高校総合文化祭「囲碁部門」(主管：山口高校)	防府商工高校
	29～30	県高等学校総合文化祭「演劇部門」(主管：岩国総合高校)	シンフォニア岩国
	29～30	第19回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会	岡山県倉敷市：水島武道場
11	2	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	熊毛南高校
	5	県高校総合文化祭「放送部門」(主管：光高校)	ニューメディアプラザ山口
	9	自主事業 巡回演劇「劇団海峡座」	下関短期大学付属高校
	11～13	県高校総合文化祭「美術・工芸部門」(主管：下松高校)	周南市美術博物館
	11～13	県高校総合文化祭「写真部門」(主管：新南陽高校)	周南市美術博物館
	12	第18回高校生文芸道場中国ブロック大会	岡山県岡山市：おかやま西河原プラザ
	12～13	山口県中学校文化連盟第12回総合文化祭長門大会	ルネッサながと
	16	自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」	宇部フロンティア大学付属香川高校
	18	第1回高文連専門部理事長会	山口中央高校
	21	自主事業 巡回演劇「劇団のんた」	周防大島高校(橋総合センター)
	26～27	第54回中国地区高等学校演劇発表会	岡山県総社市：総社市民会館
12	1～2	第28回全国高等学校文化連盟研究大会(栃木大会)	栃木県宇都宮市：栃木県総合文化センター
	2	全国高等学校文化連盟実務担当者会議	同上
	17～18	第20回中国高等学校囲碁選手権大会	島根県出雲市：パルメイト
	17～18	第15回中国地区高等学校将棋選手権大会	周南市：ザ・グラマシー
1	26	第2回高文連専門部理事長会	山口中央高校
	28～29	第2回中国地区高等学校放送コンテスト	広島県広島市：広島市青少年センター
2	3～5	第25回全国高等学校文化連盟将棋新人大会	東京都：国立オリンピック記念青少年総合センター
	13	第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校
3	15	平成28年度中国地区高文連実務担当者会議	岡山県岡山市：岡山県立岡山城東高等学校
	19～20	第12回全国高校生かるたグランプリ	福島県郡山市：郡山市総合体育館
	28	第36回山口県高等学校 器楽・管弦楽スプリングコンサート(主管：下関中等教育学校)	下関市生涯学習プラザ 海のホール
【その他】 各専門部会……部会長校を中心に開催予定 各専門部研修会…県下各地において開催予定 ※巡回演劇教室3公演、巡回音楽教室(山響)2公演 ※青少年劇場小公演2公演 ※補助事業4公演			

平成28年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書

収入総額	17,035,607円
支出総額	15,312,769円
差引残高	1,722,838円

収入の部					(単位；円)
区 分		予 算 額	決 算 額	増減額(減△)	摘 要
繰越金		2,470,306	2,470,306	0	
会 費		11,995,000	12,000,250	5,250	
内 訳	全 日 制	11,830,000	11,832,100	2,100	350円×33,806人
	定時制・総合支援	63,000	65,550	2,550	50円×1311人
	学校負担金	102,000	102,600	600	100円×1026学級
	補 助 金	4,119,000	1,423,350	△ 2,695,650	山口県より
内 訳	県 総 文 祭	525,000	525,000	0	主催 山防地区
	全国総文祭	3,594,000	898,350	△ 2,695,650	主催 広島県
	参加負担金	140,000	140,000	0	全総文祭参加校より
	調整基金から繰入	1,300,000	1,000,000	△ 300,000	
	雑 収 入	594	1,701	1,107	利息等
	合 計	20,024,900	17,035,607	△ 2,989,293	

支出の部					(単位；円)
区 分		予 算 額	決 算 額	残額(超過△)	摘 要
運 営 費		1,781,400	1,650,333	131,067	
内 訳	事 務 費	360,000	375,821	△ 15,821	事務機器維持費 事務用品費 ホームページ維持管理費等
	通 信 費	350,000	306,087	43,913	電話 郵便 運送料等
	分 担 金	521,400	520,600	800	全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 県文連会費
	賃 金	550,000	447,825	102,175	事務補助賃金
	会 議 費	2,450,000	2,048,394	401,606	
内 訳	会 議 費	350,000	327,714	22,286	大会参加費 委員会・理事会・県総文祭次年度準備委員会旅費 会議用お茶代等、保険料
	旅 費	2,100,000	1,720,680	379,320	全国会議(広島) 中国地区会議(岡山) 研究大会(栃木) 全総文祭視察派遣旅費(広島) 県内視察
	事 業 費	15,418,600	11,614,042	3,804,558	
内 訳	県 総 文 祭	6,851,000	5,729,316	1,121,684	総合開会式 各部門大会開催費
	全 総 文 祭	3,793,000	1,481,249	2,311,751	生徒旅費補助 引率旅費補助 運搬費 参加負担金
	自 主 事 業	1,839,200	1,839,200	0	自主事業7公演 補助事業4公演
	大会補助金	150,000	150,000	0	将棋部門中国大会 特別支援学校文化祭
	専門部会費	2,475,400	2,083,816	391,584	研修費 全国分担金 役員旅費・保険料等
	印 刷 費	300,000	283,824	16,176	集録 会報 県総文ボスター
	中高連携費	10,000	46,637	△ 36,637	中高文連交流事業
	調 整 基 金	0	0	0	
	予 備 費	374,900	0	374,900	
	合 計	20,024,900	15,312,769	4,712,131	

平成28年度 調整基金会計決算書

前年度繰越	一般会計へ繰出	今年度末残高
9,400,000	1,000,000	8,400,000

上記の通り相違ありません
平成29年 4 月 13 日

監事

監事

栗 林 正 和
鈴 木 三 郎

平成29年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画

月	日	事業	会場
4	13	会計監査	山口中央高校
	20	第1回企画運営委員会	山口中央高校
5	12	評議員会 平成28年度集録「高文連」発行	山口市：セントコア山口
	23	公益社団法人全国高等学校文化連盟定時総会	東京：アイビーホール
27	28	県高校総合文化祭「将棋部門」(主管：徳山高校)	防府市文化福祉会館
28	28	県高校総合文化祭「小倉百人一首かるた部門」(主管：小野田高校)	小野田高校 武道場
29	29	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	山口県鴻城高校
6	15	第39回県高校総合文化祭総合開会式(主管：岩国商業高校)	シンフォニア岩国
16	17	県高校総合文化祭音楽4部門発表会(主管：柳井高校・岩国・柳井支部)	シンフォニア岩国
17	17	県高校総合文化祭「日本音楽部門」(主管：徳山高校)	周南市文化会館
21	21	自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」	美祢青嶺高校
30	30	第28回中国地区高等学校文化連盟 理事会及び関係者合同会議	広島県広島市：
7	22	23 全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会	滋賀県 大津市 近江神宮
	31	4 (公社) 全国高等学校文化連盟各専門部会	宮城県
	31	4 第41回全国高等学校総合文化祭	宮城県
8	1	(公社) 全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	宮城県：仙台市
26	27	第28回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京：国立劇場大劇場
9			
10	16	自主事業 青少年劇場小公演 はなしの伝統芸能「落語」	豊浦総合支援学校
	19	自主事業 巡回演劇「劇団のんた」	柳井高校
	21	県高校総合文化祭「囲碁部門」(主管：山口高校)	防府商工高校
	23	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	下関中央工業高校
	26	自主事業 青少年劇場小公演 音楽世界旅行「ピアノとバイオリンのコンサート」	慶進高校
28	29	県高校総合文化祭「書道部門」(主管：下関南高校)	下関市民会館展示ホール
28	29	県高等学校総合文化祭「演劇部門」(主管：サビエル高校)	不二輸送機ホール(山陽小野田市文化会館)
28	29	第20回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会	山口県山陽小野田市：山陽小野田市民体育館
11	4	県高校総合文化祭「放送部門」(主管：下松高校)	ニューメディアプラザ山口
	9	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	光高校
	10	自主事業 巡回演劇「劇団海峡座」	豊北高校
	14	補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	下関西高校定時制
	16	補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	山口農業高校
10	12	県高校総合文化祭「写真部門」(主管：新南陽高校)	新南陽ふれあいセンター
11	12	山口県中学校文化連盟第13回総合文化祭下関大会	下関市菊川ふれあい会館(アブニール)
	11	県高校総合文化祭「文芸部門」(主管：光丘高校)	梅光学院大学
	11	第19回高校生文芸道場中国ブロック大会(県総文祭文芸部門を兼ねる)	下関市：梅光学院大学
17	19	県高校総合文化祭「美術・工芸部門」(主管：山口高校)	山口市民会館展示ホール
		第1回専門部理事長会	山口中央高校
12	7	8 第29回全国高等学校文化連盟研究大会(京都大会)	京都府京都市：京都府公館・府民ホールアルティ
	8	全国高等学校文化連盟実務担当者会議	同上
16	17	第16回中国地区高等学校将棋選手権大会	岡山県岡山市：ビューアリティーマギビ
21	24	第55回中国地区高等学校演劇発表会	山口県下関市：下関市民会館
25	26	第21回中国高等学校囲碁選手権大会	山口県山口市：山口県健康づくりセンター
1		山口県中文連・高文連合同調査研究打ち合わせ会	山口中央高校または大庭中学校
		第2回専門部理事長会	山口中央高校
25	27	第26回全国高等学校将棋新人大会	静岡県浜松市：
27	28	第3回中国地区高等学校放送コンテスト	山口県防府市：防府市地域交流センター アスビラート
2		第2回企画運営委員会	山口中央高校
3	15	平成29年度中国地区高文連実務担当者会議	広島県広島市：広島市立舟入高等学校
		マーチン・ハント・ハントワング講習会	
	27	第37回山口県高等学校 器楽・管弦楽スプリングコンサート(主管：山口高校)	山口市民会館
【その他】 各専門部会……部会長校を中心に開催予定 各専門部研修会…県下各地において開催予定 ※巡回演劇教室3公演、巡回音楽教室(山響)2公演、青少年劇場小公演2公演 ※補助事業4公演			

平成29年度 山口県高等学校文化連盟会計予算書

収入総額	23,874,000円
支出総額	23,874,000円

収入の部					(単位：円)
区 分	予 算 額	前年度予算額	増減額 (減△)	摘 要	
繰越金	1,722,838	2,470,306	△ 747,468		
会 費	11,937,600	11,995,000	△ 57,400		
内 訳	全日制 定時制・総合支援 学校負担金	11,770,500 64,500 102,600	11,830,000 63,000 102,000	△ 59,500 1,500 600	350円×33,630人 50円×1290人 100円×1026学級
補助金	5,673,000	4,119,000	1,554,000	山口県より	
内 訳	県総文祭 全国総文祭	485,000 5,188,000	525,000 3,594,000	△ 40,000 1,594,000	主催 岩国地区 主催 宮城県
参加負担金	139,000	140,000	△ 1,000	全総文祭	
調整基金から繰入	4,400,000	1,300,000	3,100,000		
雑 収 入	1,562	594	968	利息等	
合 計	23,874,000	20,024,900	3,849,100		

支出の部					(単位：円)
区 分	予 算 額	前年度予算額	増減額(減△)	摘 要	
運営費	1,771,400	1,781,400	△ 10,000		
内 訳	事務費 通信費 分担金 賃 金	410,000 340,000 521,400 500,000	360,000 350,000 521,400 550,000	50,000 △ 10,000 0 △ 50,000	連盟旗 記念品 事務機器維持費 事務用品 HP管理費等 振込手数料 電話 郵便 運送料等 全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 県文連会費 事務補助賃金
会議費	2,343,000	2,450,000	△ 107,000		
内 訳	会議費 旅 費	350,000 1,993,000	350,000 2,100,000	0 △ 107,000	大会参加費 委員会・理事会・県総文祭次年度準備委員会 旅費 会議用お茶代等、保険料 全国会議(宮城) 中国地区会議(広島) 研究大会(京都) 県内視察旅費
事業費	19,651,342	15,418,600	4,232,742		
内 訳	県総文祭 全総文祭 自主事業 大会補助金 専門部会費 印刷費 中高連携費	6,893,911 6,870,000 1,839,200 1,185,231 2,473,000 340,000 50,000	6,851,000 3,793,000 1,839,200 150,000 2,475,400 300,000 10,000	42,911 3,077,000 0 1,035,231 △ 2,400 40,000 40,000	総合開会式、各部門開催費 生徒旅費補助 引率旅費補助 運搬費 参加負担金 自主事業7公演 補助事業4公演 5 専門部中国大会 特別支援学校文化祭 研修費 全国分担金 役員旅費・保険等 集録 会報 県総文ホスター 賞状 中高文連交流事業
調整基金	0	0	0		
予備費	108,258	374,900	△ 266,642		
合 計	23,874,000	20,024,900	3,849,100		

平成29年度 調整基金会計予算書

			(単位：円)
前年度繰越	一般会計へ繰出	今年度末残高	
8,400,000	4,400,000	4,000,000	

山口県高等学校文化連盟規約

昭和62年4月1日制定
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成3年4月1日改正
平成4年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成9年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成18年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成21年4月1日改正
平成22年4月1日改正
平成23年5月6日改正
平成25年5月10日改正

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

(事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

(目 的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

(事 業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

(組 織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下、「高等学校」という。）並びに高等部を設置している特別支援学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、吟詠

剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸、自然科学、小倉百人一首かるたの各部門とする。

第2章 役員

(役員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- | | |
|------------|-----------|
| (1) 会 長 | 1 人 |
| (2) 副会長 | 若干人 |
| (3) 評議員 | 各加盟校ごとに1人 |
| (4) 支部長 | 7 人 |
| (5) 専門部会長 | 16人 |
| (6) 専門部理事長 | 16人 |
| (7) 監 事 | 2 人 |
| (8) 参 与 | 若干人 |

(役員の選出)

第8条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。
- (4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。
- (5) 監事は、会計を監査する。
- (6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校等に在職する者とし、その任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

第3章 会 議

(会 議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げるとおりとし、会長が必要に応じてこれを招集する。

- (1) 評議員会
- (2) 企画運営委員会

(3) 理事長会

- 2 会議の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。
- 5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる重要事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 評議員から委任された事項
 - (2) 会務の運営及び執行に関する事項
 - (3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項
- 2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。
 - 3 委員会は、事業を主管する学校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。
 - 4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 企画運営委員会から委任された事項
- (2) その他各専門部の運営に係わる事項

第4章 会 計

(経 費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の加盟費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第5章 事務局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運 営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第6章 雑 則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟諸規程

[会 計 規 程]

昭和62年 4 月 1 日制定
平成 4 年 4 月 1 日改正
平成 5 年 4 月 1 日改正
平成 8 年 4 月 1 日改正
平成20年 4 月 1 日改正
平成23年 5 月 6 日改正

- 第 1 条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。
- 第 2 条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。
- 第 3 条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。
- 第 4 条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え、全ての経理内容を記入するものとする。
- 第 5 条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。
- 第 6 条 各高等学校は、毎年 5 月 31 日までに、加盟費を納入するものとする。
- 加盟費内訳
- ①各高等学校生徒数に以下の金額を乗じたもの
- | | |
|-------------------|------|
| (全日制生徒) | 350円 |
| (定時制、特別支援学校高等部生徒) | 50円 |
- ②各学校の学級数に100円を乗じたもの。(定時制、特別支援学校は除く)
- 第 7 条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める

附 則

この規程は、昭和62年 4 月 1 日から実施する。

[事 務 局 規 程]

昭和62年 4 月 1 日制定
昭和62年 7 月 14 日改正
平成23年 5 月 6 日改正

- 第 1 条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。
- 第 2 条 事務局に次の職員を置く。
- (1) 事務局長
- (2) 事務局員 ア 事務局次長 イ 総務係 ウ 会計係
- 第 3 条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。
- 第 4 条 事務局次長は、事務局長を補佐する。
- 第 5 条 事務局総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書等に関する事項を分掌する。
- 第 6 条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。
- 第 7 条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。
- 第 8 条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。
- 第 9 条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

附 則

この規程は、昭和62年 4 月 1 日から実施する。

山口県高等学校文化連盟表彰規程

昭和62年4月1日制定

昭和62年7月14日改正

平成元年4月1日改正

平成2年4月1日改正

平成6年4月1日改正

平成8年4月1日改正

平成15年4月1日改正

平成18年4月1日改正

平成24年5月11日改正

平成25年5月10日改正

平成26年5月9日改正

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

(表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

(1) 文化功労賞

(2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの

(文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数120名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

(1) 人格、識見共に優秀と認める者

(2) 芸術文化活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。

(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、各専門部において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。表彰は退職する年度または退職後に行う。ただし、専門部理事長を3期6年勤めた者は退任時に表彰することができる。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、第10条功績賞対象者のうち、全国高等学校総合文化祭表彰規定により表彰された部の指導を行った者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の授賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決定する。
本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟旅費支給基準

〔旅費支給基準〕

昭和62年4月1日制定
昭和63年4月1日制定
平成元年4月1日制定
平成11年4月1日改正
平成13年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成22年4月1日改正
平成28年5月13日改正

第1条 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

第2条 県総文祭の運営に関する旅費は、委託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。

第3条 全国高等学校総合文化祭に関する旅費の引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。

生徒は、〔交通費実費（学割・団体割引）＋宿泊費（大会規定料金）×2〕×1/3とする。

※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

ただし、特殊な事情がある場合はその都度協議し会長が決定する。

〔調整基金細則規定〕

第1条 規約第4条の事業を円滑に遂行し、財務の健全化を図るため調整基金を設ける。

第2条 調整基金の額は、年度予算に計上して積み立てるものとする。

第3条 調整基金に属する現金は、金融機関への預金等最も確実な方法により保管するものとする。

第4条 調整基金は、事業執行上の財源が著しく不足する場合において、当該不足分を補うための財源に充てるときに限り、評議員会の議決によりこれを処分することができる。

附 則

1 この規定は、昭和62年4月1日から施行する。

2 この細則の施行前の調整基金については、この細則による執行とみなす。

平成28年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職 名	氏 名	支 部 ・ 専 門 部	所 属 校
会 長	吉 本 晃		山 口 中 央 高 校
副 会 長	倉 田 伸 治		徳 山 高 校
	御 神 本 実 喜		柳 井 高 校
	中 村 芳 喜		早 鞆 高 校
参 与	高 原 透		山 口 高 校
支 部 長	奈 迫 忠 夫	岩 国 支 部	岩 国 高 校
	御 神 本 実 治	柳 井 支 部	柳 井 高 校
	倉 田 伸 治	徳 山 支 部	徳 山 高 校
	宮 地 政 利	山 防 支 部	防 府 高 校
	岩 本 龍 治	宇 部 支 部	宇 部 高 校
	首 藤 裕 司	下 関 支 部	下 関 西 高 校
	西 村 佳 子	長 北 支 部	萩 高 校
専 門 部 会 長	岩 本 龍 治	演 劇 部 門	宇 部 高 校
	齋 藤 嗣 夫	器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	下 関 南 高 校
	西 村 佳 子	合 唱 部 門	萩 高 校
	岩 本 龍 治	吹 奏 楽 部 門	宇 部 高 校
	岩 本 龍 治	マーチンクバンド・バトントワリング部門	宇 部 高 校
	御 神 本 実 治	日 本 音 楽 部 門	柳 井 高 校
	(休部)	吟 詠 剣 詩 舞 部 門	(休部)
	倉 田 伸 治	美 術 ・ 工 芸 部 門	徳 山 高 校
	大 木 治 至	書 道 部 門	下 関 中 等 教 育 学 校
	須 藤 恒 史	写 真 部 門	新 南 陽 高 校
	高 原 透	囲 碁 部 門	山 口 高 校
	倉 田 伸 治	将 棋 部 門	徳 山 高 校
	河 口 郁 史	放 送 部 門	光 丘 高 校
	伊 藤 隆 昌	文 芸 部 門	光 丘 高 校
	岩 本 龍 治	自 然 科 学 部 門	宇 部 高 校
	國 吉 哲 郎	小 倉 百 人 一 首 かるた 部 門	小 野 田 高 校
専 門 部 理 事 長	新 竹 伸 芳	演 劇 部 門	宇 部 高 校
	秋 本 隆 子	器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	下 関 南 高 校
	松 屋 ま な み	合 唱 部 門	萩 高 校
	志 道 博 資	吹 奏 楽 部 門	宇 部 高 校
	志 道 博 資	マーチンクバンド・バトントワリング部門	宇 部 高 校
	杉 尾 文 子	日 本 音 楽 部 門	柳 井 高 校
	(休部)	吟 詠 剣 詩 舞 部 門	(休部)
	濱 崎 洋 子	美 術 ・ 工 芸 部 門	徳 山 高 校
	河 合 和 子	書 道 部 門	下 関 中 等 教 育 学 校
	尾 崎 勝 利	写 真 部 門	新 南 陽 高 校
	眞 當 良 洋	囲 碁 部 門	山 口 高 校
	弘 中 敏 之	将 棋 部 門	徳 山 高 校
	徳 永 志 保	放 送 部 門	光 丘 高 校
	松 永 直 子	文 芸 部 門	光 丘 高 校
	大 田 和 子	自 然 科 学 部 門	宇 部 高 校
	青 池 の ぞ み	小 倉 百 人 一 首 かるた 部 門	小 野 田 高 校
監 事	栗 林 正 和		防 府 商 工 高 校
	清 水 利 宏		西 京 高 校
事 務 局 長	西 村 正 浩		山 口 中 央 高 校
事 務 局 次 長	中 明 聖 晴		山 口 中 央 高 校
事 務 局 員 (会 計)	佐 々 木 靖 子		山 口 中 央 高 校
事 務 局 員 (庶 務)	佐 賀 ひ ろ 子		嘱 託

平成29年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職 名	氏 名	支 部・専 門 部	所 属 校
会 長	阿 武 慎 治		山 口 中 央 高 校
副 会 長	須 藤 恒 史		徳 山 高 校
	御 神 本 実 雄		柳 井 高 校
	前 田 茂 雄		高 水 高 校
参 与	高 原 透		山 口 高 校
支 部 長	奈 迫 忠 夫	岩 国 支 部	岩 国 高 校
	御 神 本 実 史	柳 井 支 部	柳 井 高 校
	須 藤 恒 史	徳 山 支 部	徳 山 高 校
	宮 地 政 利	山 防 支 部	防 府 高 校
	古 谷 修 一	宇 部 支 部	宇 部 高 校
	山 根 敬 二	下 関 支 部	下 関 西 高 校
	河 村 志 郎	長 北 支 部	萩 高 校
専 門 部 会 長	伊 藤 隆 昌	演 劇 部 門	防 府 西 高 校
	齋 藤 嗣 夫	器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	下 関 南 高 校
	中 村 柔 道 史	合 唱 部 門	萩 光 塩 学 院 高 校
	河 口 郁 史	吹 奏 楽 部 門	光 高 校
	河 口 郁 史	マーチンクバンド・バトントワリング部門	光 高 校
	牛 見 正 彦	日 本 音 楽 部 門	野 田 学 園 高 校
	(休部)	吟 詠 剣 詩 舞 部 門	(休部)
	須 藤 恒 史	美 術 ・ 工 芸 部 門	徳 山 高 校
	齋 藤 嗣 夫	書 道 部 門	下 関 南 高 校
	宮 内 俊 次 郎	写 真 部 門	新 南 陽 高 校
	高 原 透 史	囲 碁 部 門	山 口 高 校
	須 藤 恒 史	将 棋 部 門	徳 山 高 校
	吉 長 幸 視	放 送 部 門	下 松 高 校
	大 塚 泰 二	文 芸 部 門	光 丘 高 校
	古 谷 修 一	自 然 科 学 部 門	宇 部 高 校
	國 吉 哲 郎	小 倉 百 人 一 首 か る た 部 門	小 野 田 高 校
専 門 部 理 事 長	近 藤 真 美	演 劇 部 門	防 府 西 高 校
	秋 本 隆 奈	器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	下 関 南 高 校
	杉 山 和 歌	合 唱 部 門	萩 光 塩 学 院 高 校
	中 村 亮 亮	吹 奏 楽 部 門	光 高 校
	中 平 直 子	マーチンクバンド・バトントワリング部門	光 高 校
	(休部)	日 本 音 楽 部 門	野 田 学 園 高 校
	濱 崎 洋 子	吟 詠 剣 詩 舞 部 門	(休部)
	河 合 和 子	美 術 ・ 工 芸 部 門	徳 山 高 校
	尾 崎 勝 利	書 道 部 門	下 関 南 高 校
	眞 當 良 洋	囲 碁 部 門	新 南 陽 高 校
	弘 中 敏 之	将 棋 部 門	山 口 高 校
	馬 木 明 美	放 送 部 門	徳 山 高 校
	松 永 直 子	文 芸 部 門	下 松 高 校
	大 田 和 子	自 然 科 学 部 門	光 丘 高 校
	青 池 のぞみ	小 倉 百 人 一 首 か る た 部 門	宇 部 高 校
監 事	栗 林 正 和		防 府 商 工 高 校
	鈴 木 三 郎		西 京 高 校
事 務 局 長	西 村 正 浩		山 口 中 央 高 校
事 務 局 次 長	中 明 聖 晴		山 口 中 央 高 校
事 務 局 員 (会 計)	佐 々 木 靖 子		山 口 中 央 高 校
事 務 局 員 (庶 務)	佐 賀 ひろ子		山 嶺 校 託

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定
向 川 栄 美 作 詞
乗 松 美 紀 作 曲



1. てをのば せば ほ ら き っ と だ れ か が さ さ え て く れ る
2. よびか ければ ほ ら き っ と だ れ か が こ た え て く れ る

みーわ た せー ば ほ ら な か ま が い つ で も そ ば に い る き み
こ ころ を ひ ら け ば ほ ら な か ま は い つ で も ま っ て い る き み

は ひ と り じ ゃ な い さ あ あ る き だ そ う
は ひ と り じ ゃ な い さ あ あ は き ば た そ こ う

ほ く ら の お ん か を つ く る た め ー に
ほ く ら の お ん か を つ き ず る た め ー に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせば ほら

きつと誰かが支えてくれる
見渡せば ほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ 歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかければ ほら

きつと誰かが応えてくれる

心を開けば ほら

仲間がいつでも待っている

君は一人じゃない

さあ 翔はばたこう

僕等の文化を築くために

山口県高等学校文化連盟
「高文連」編集委員

(各 部 門)

演	劇	新 竹 伸 芳 (宇 部 高 等 学 校)
合	唱	松 屋 まなみ (萩 高 等 学 校)
吹	奏 楽	志 道 博 資 (宇 部 高 等 学 校)
器 楽・	管 弦 楽	秋 本 隆 (下 関 南 高 等 学 校)
日 本	音 楽	杉 尾 文 子 (柳 井 高 等 学 校)
マーチングバンド・パントフリング		志 道 博 資 (宇 部 高 等 学 校)
美 術・	工 芸	濱 崎 洋 (徳 山 高 等 学 校)
書	道	河 合 和 子 (下 関 中 等 教 育 学 校)
写	真	尾 崎 勝 利 (新 南 陽 高 等 学 校)
放	送	徳 永 志 保 (光 高 等 学 校)
囲	碁	眞 當 良 洋 (山 口 高 等 学 校)
将	棋	弘 中 敏 之 (徳 山 高 等 学 校)
小倉百人一首かるた		青 池 のぞみ (小 野 田 高 等 学 校)
文	芸	松 永 直 子 (光 丘 高 等 学 校)
自 然 科 学		大 田 和 子 (宇 部 高 等 学 校)

事 務 局 長	西 村 正 浩 (山 口 中 央 高 等 学 校)
事 務 局 次 長	中 明 聖 晴 (山 口 中 央 高 等 学 校)
事 務 局 員 (総 務)	佐々木 靖 子 (山 口 中 央 高 等 学 校)
事 務 局 員 (庶 務)	佐 賀 ひろ子 (山 口 中 央 高 等 学 校)



平成28年度
山口県高等学校文化連盟集録
「高 文 連」

編集・発行 山口県高等学校文化連盟事務局
〒753-0043 山口市宮島町6-1
山口県立山口中央高等学校内
電 話 083-922-0032
FAX 083-932-0813

表紙デザイン／山 縣 知 子
(山口中央高校2年)

